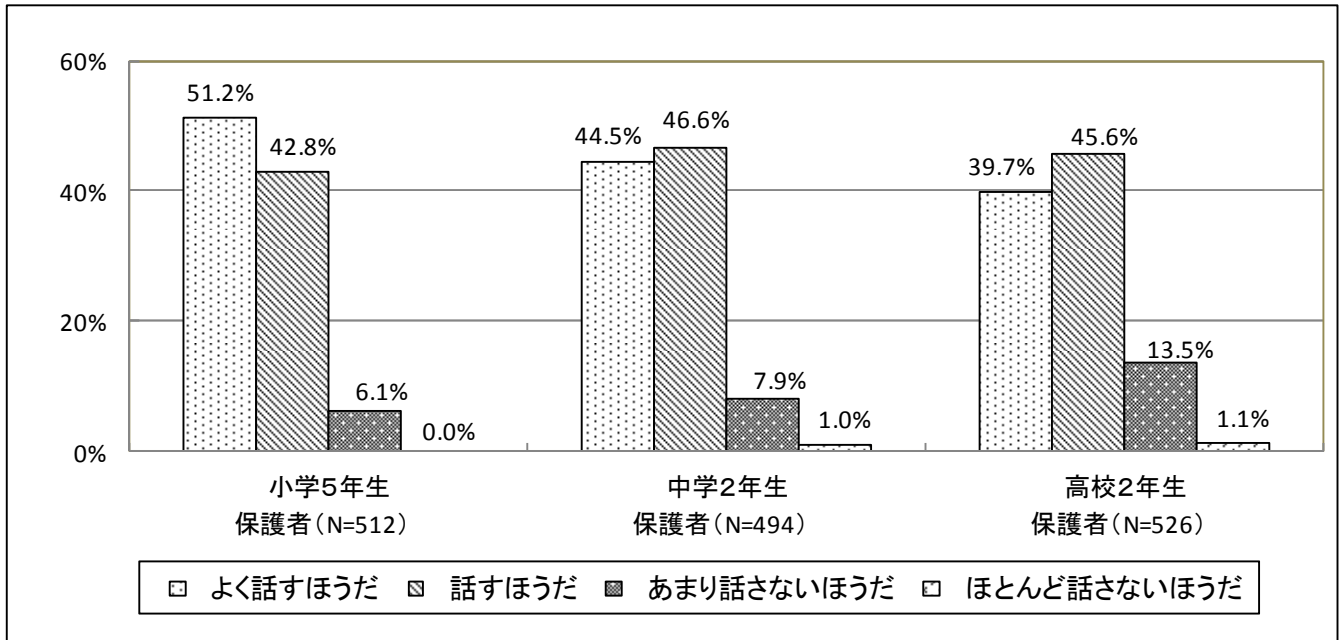


1 家庭生活

1 子どもとの関係

(1) 対話の頻度

問. あなたは、お子さんとよく話をしますか。(単数回答)

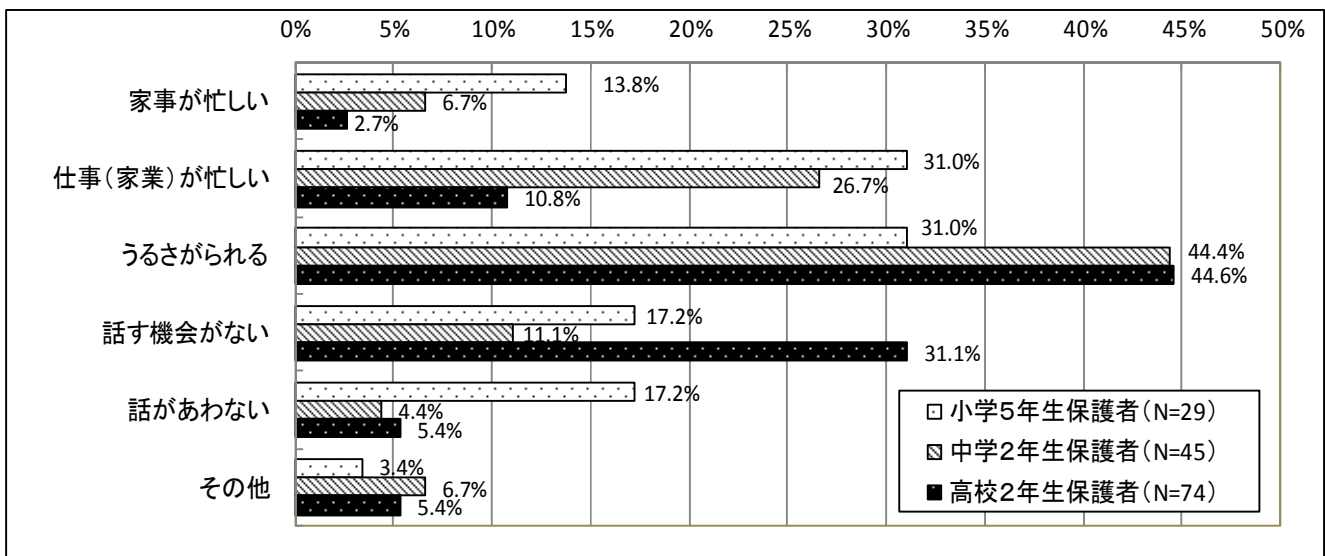


「よく話すほうだ」と「話すほうだ」の合計は、小学5年生の保護者で94%、中学2年生の保護者で約91%、高校2年生の保護者で約85%であり、どの年代も90%前後となっている。

(2) 対話しない理由

問. 話をしない理由は何ですか。(単数回答)

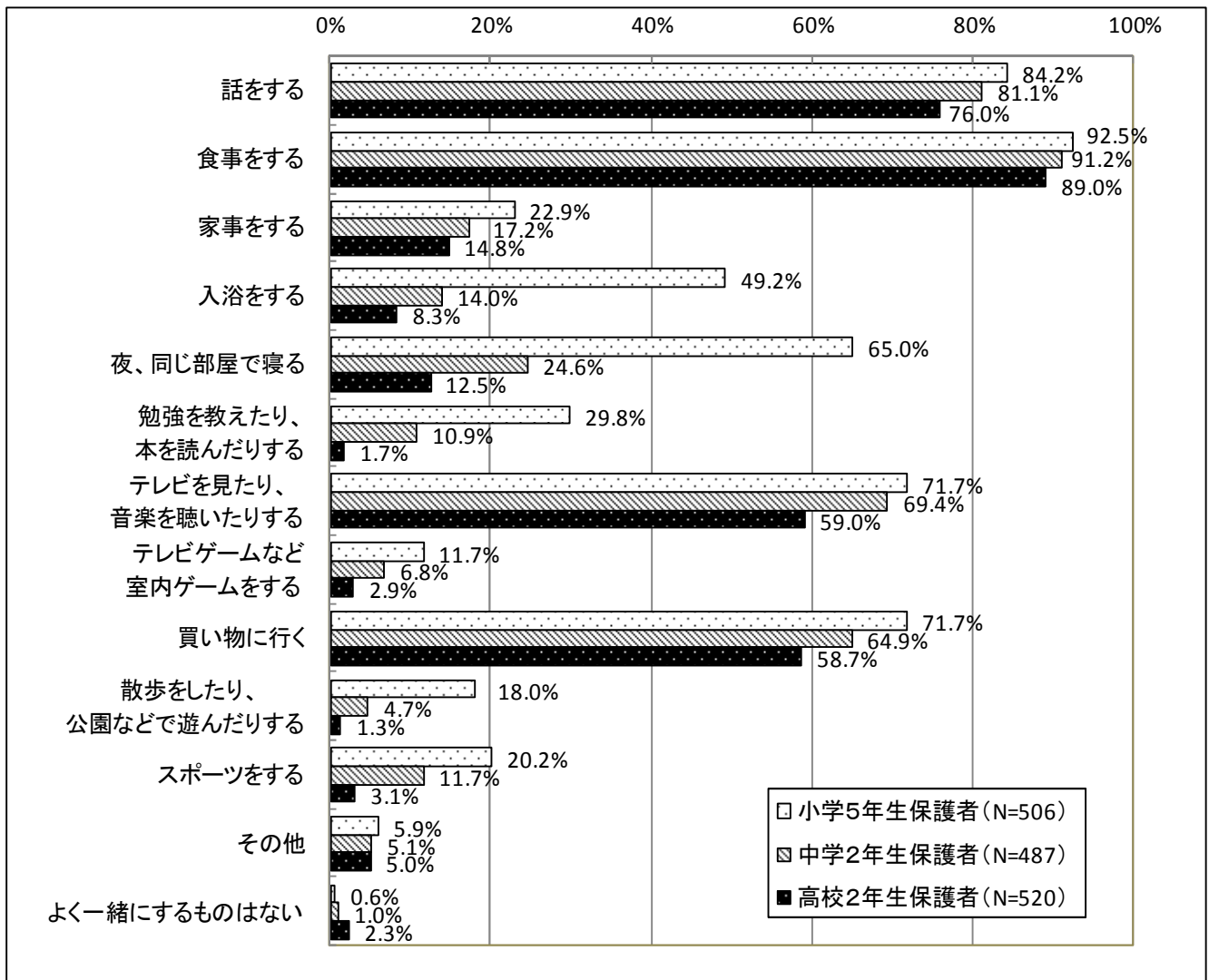
(1(1)で「あまり話さないほうだ」または「ほとんど話さないほうだ」回答者のみ)



話をしない理由として、中学2年生・高校2年生の保護者では「うるさがられる」、小学5年生の保護者では「うるさがられる」、「仕事(家業)が忙しい」がもっとも多かった。

(3) 子どもと一緒にすること

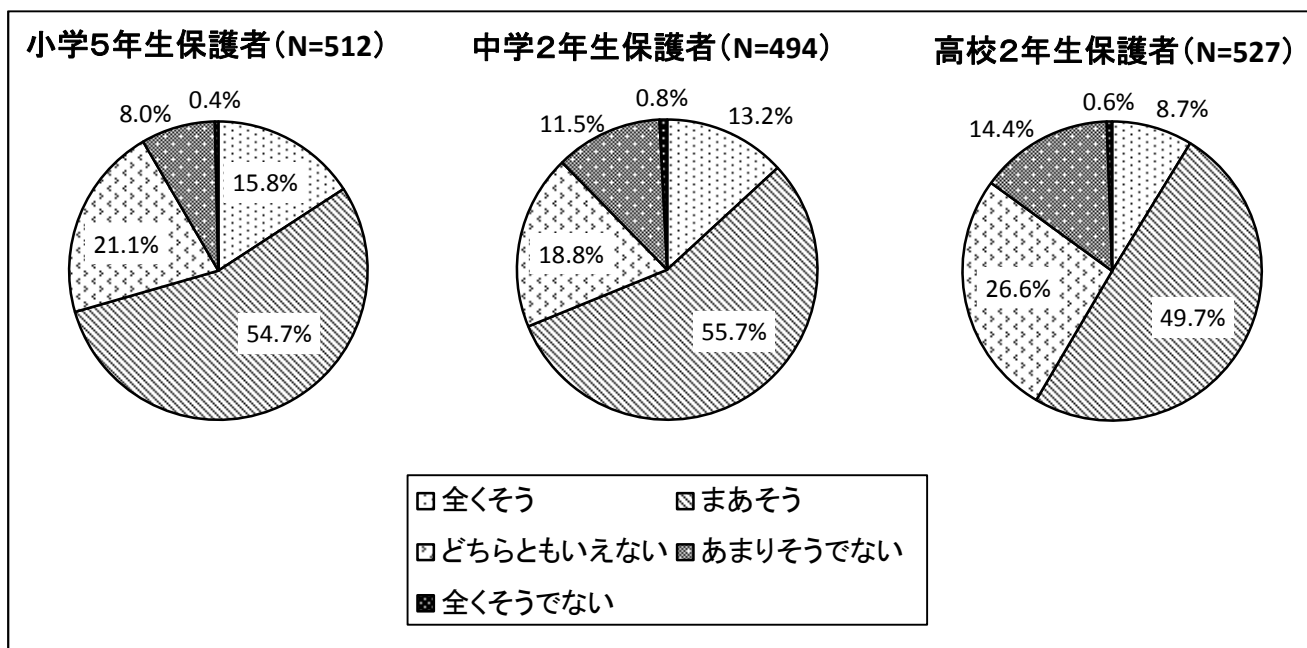
問. あなたがお子さんとよく一緒にすることはどれですか。(複数回答)



全ての年代の保護者で「食事をする」の比率が最も高く、次に「話をする」の比率が高かった。また、年代が上がるにつれて、子どもと一緒にすることは少なくなっていく傾向にある。

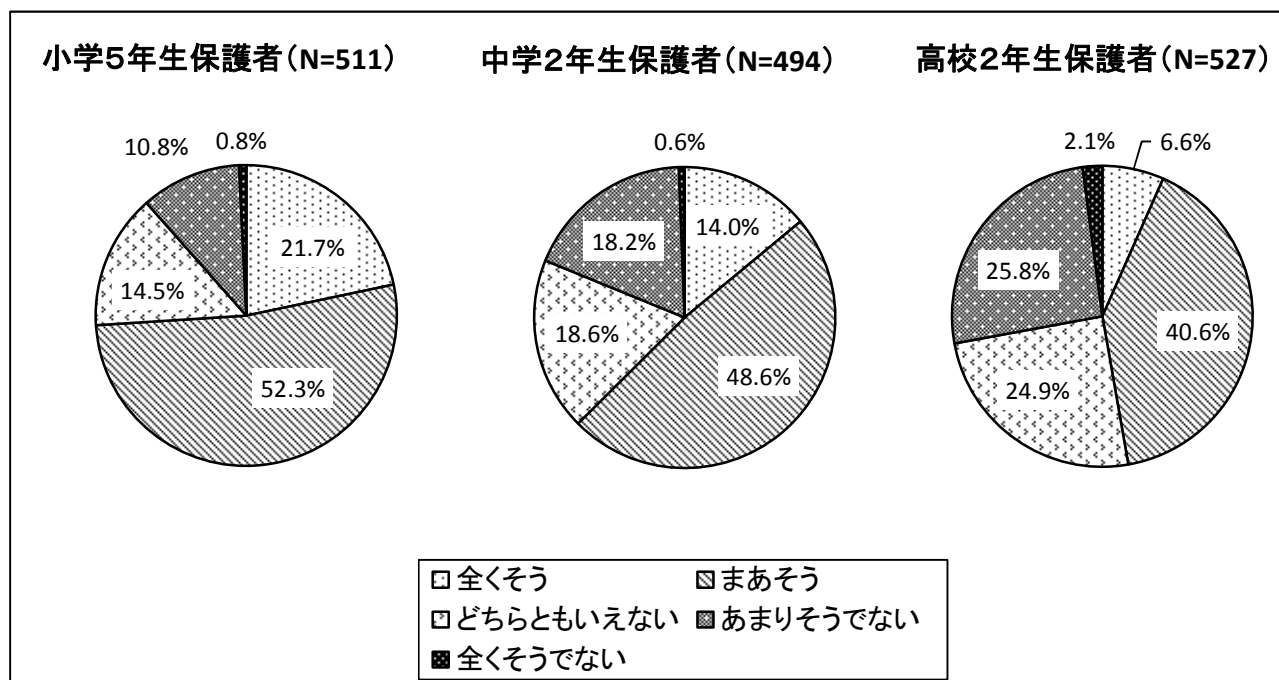
(4) 子どもとの関係

問. あなたは子どもをよく褒めたり、励ましたりしますか。(単数回答)



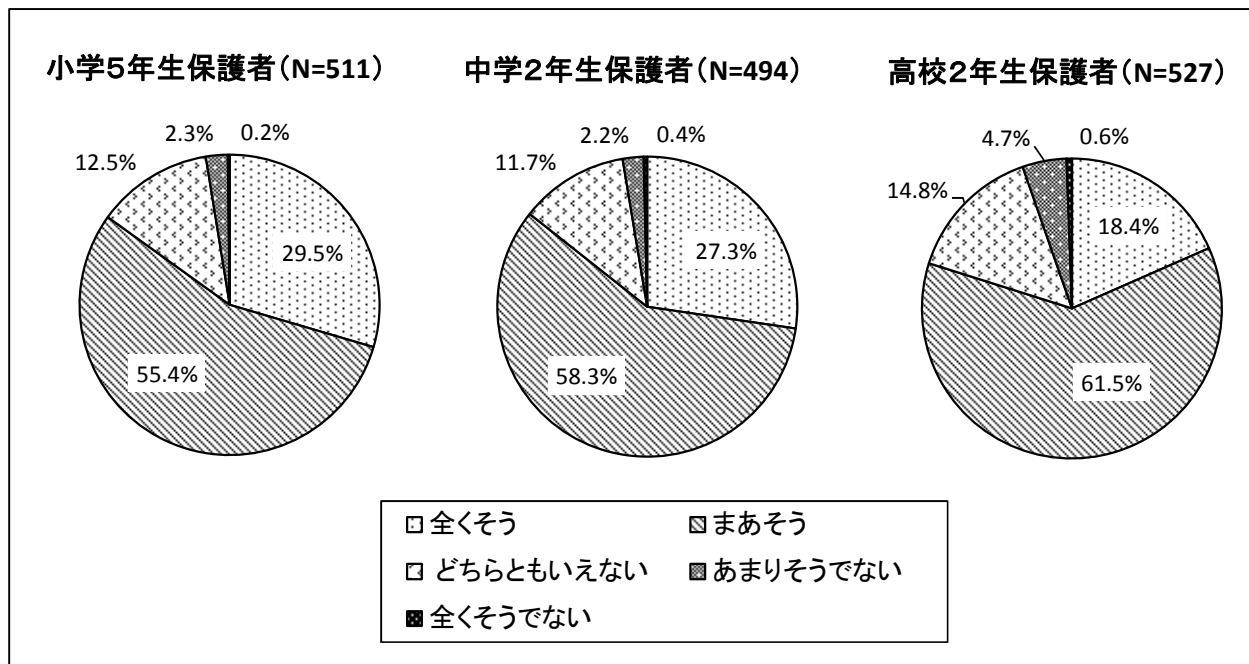
全ての年代の保護者で「まあそう」と回答した比率が最も高かった。「全くそう」「まあそう」と回答する比率は年代が上がるにつれて低くなった。

問. あなたはよく子どもを叱りますか。(単数回答)



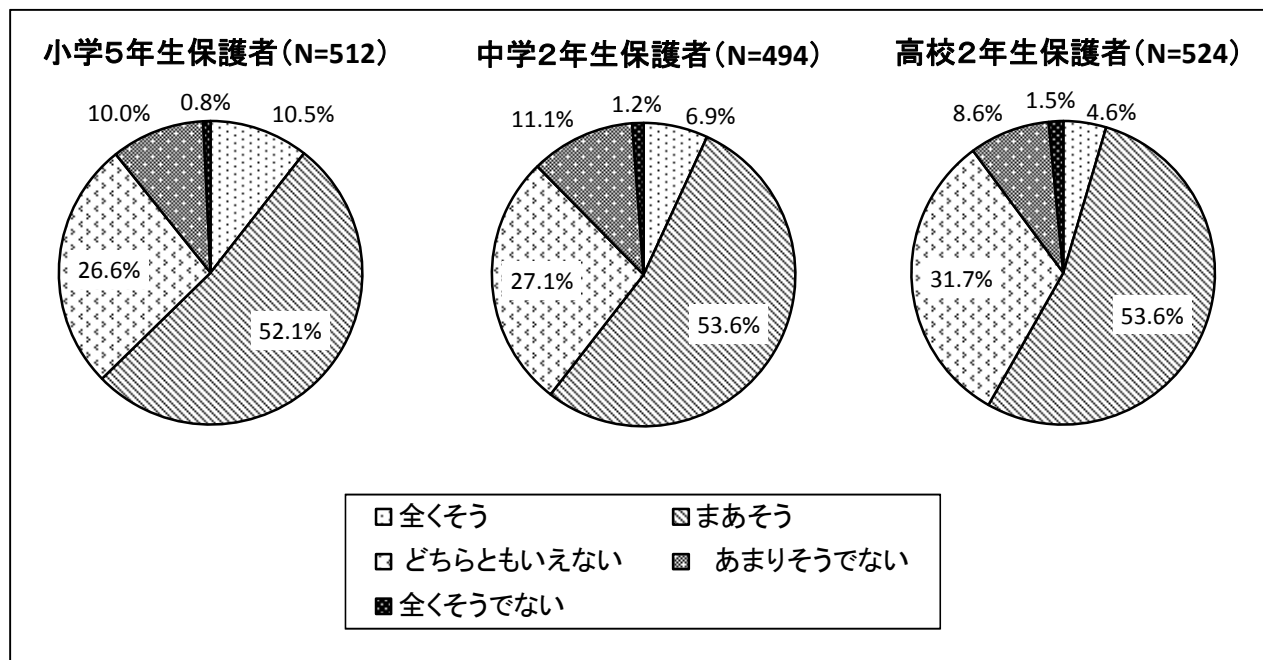
全ての年代の保護者で「まあそう」と回答した比率が最も高かった。「全くそう」「まあそう」と回答する比率は年代が上がるにつれて減少した。

問. あなたは子どもの教育に関心を持っていますか。(単数回答)



小学5年生・中学2年生の保護者では「全くそう」「まあそう」と回答した比率は約85%であった。高校2年生の保護者では「全くそう」「まあそう」と回答した比率は約80%であった。

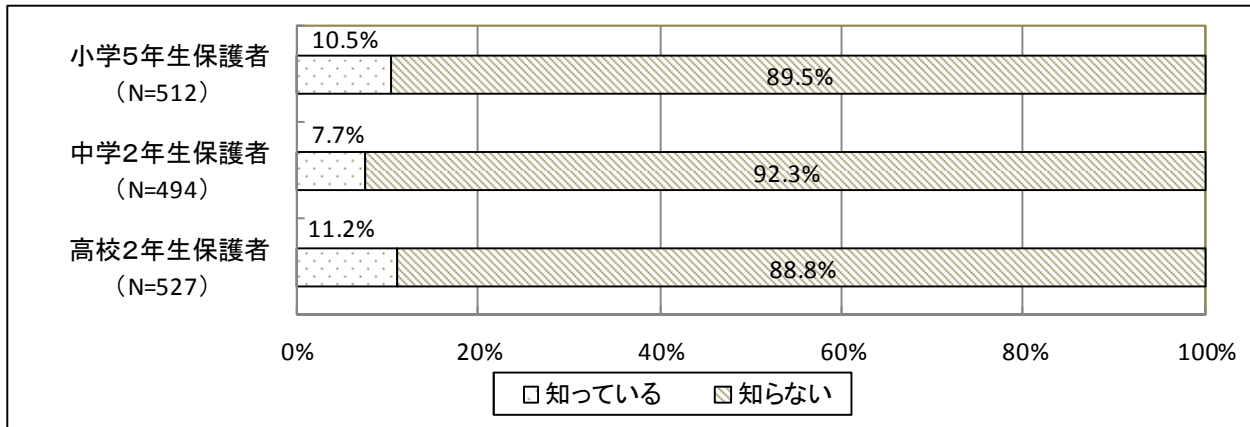
問. 子どもはあなたの意見をよく聞きますか。(単数回答)



全ての年代の保護者で「全くそう」「まあそう」と回答した比率は約60%であった。また、「全くそう」と回答した比率は年代が上がるにつれて減少した。

2 家庭の日の認知

問. あなたは、県が毎月第3日曜日を「家庭の日」(家族そろって楽しく過ごす日)としていることを知っていますか。(単数回答)



「知っている」と回答したのは、どの年代の保護者も10%前後であり、「知らない」の比率が圧倒的に高かった。

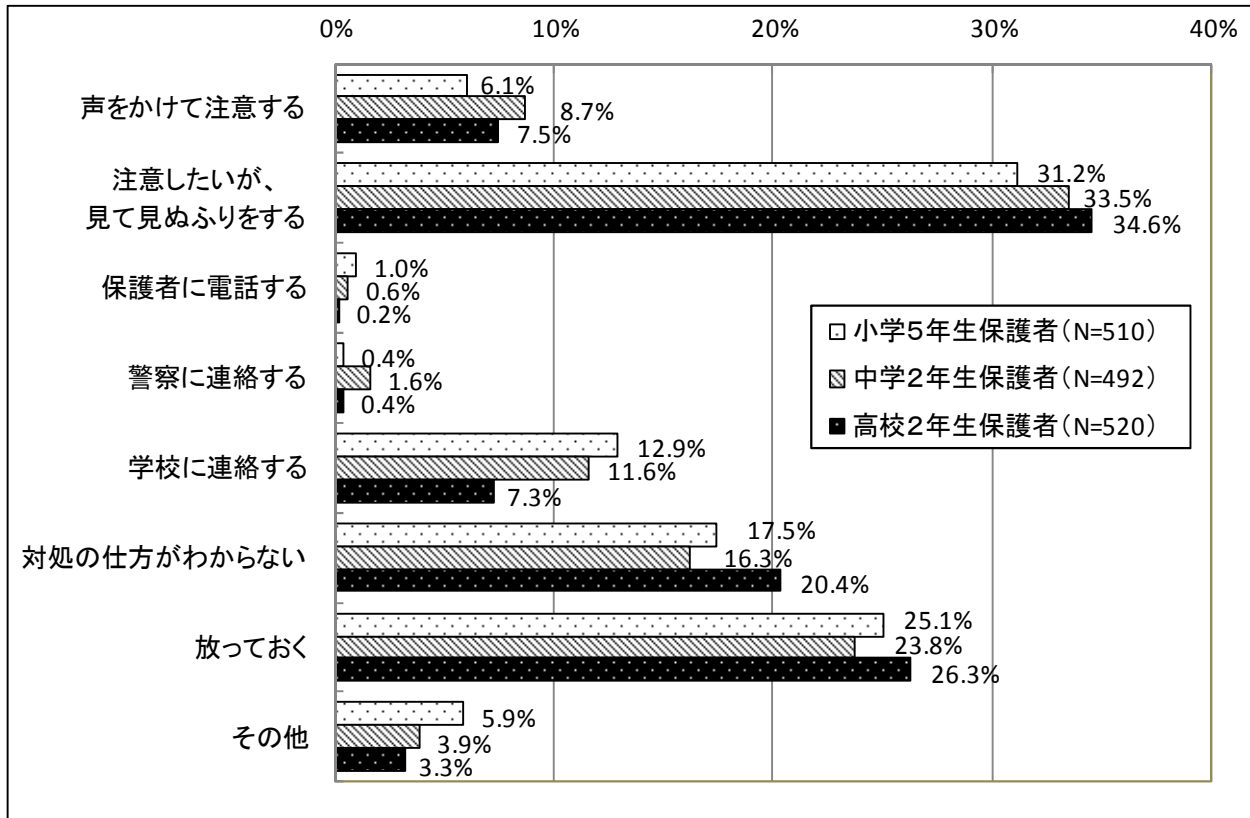
2 地域生活

青少年健全育成

素行の悪い青少年への対応

問. あなたは、タバコを吸っている未成年者を見かけたとき、どのようにしますか。

(単数回答)

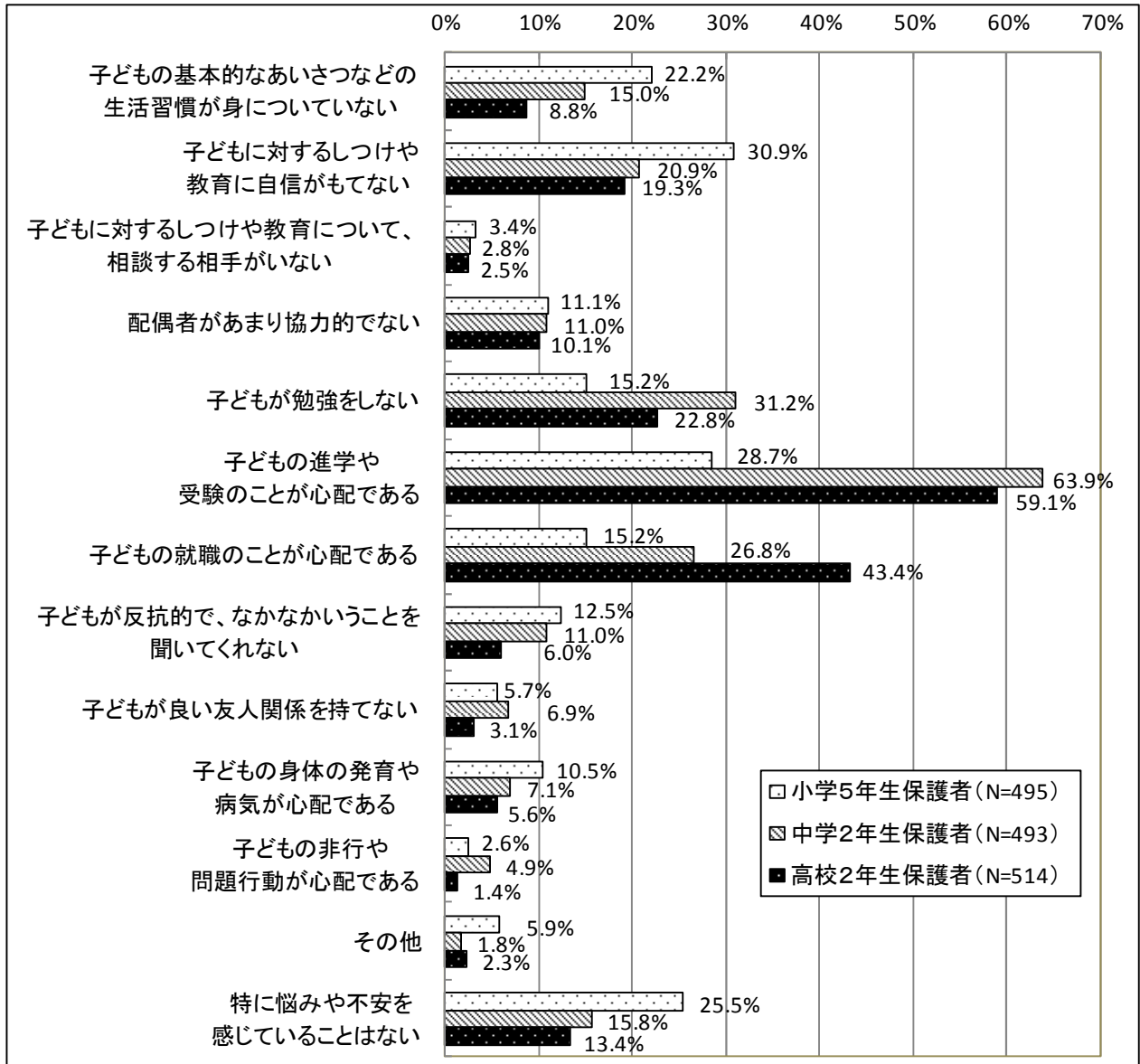


全ての年代の保護者で「注意したいが、見て見ぬふりをする」が最も多かった。他の回答では「放っておく」、「対処の仕方がわからない」が上位で、消極的な意見が多かった。

3 悩みや心配事

1 悩みや心配事の内容

問. あなたは、お子さんのしつけや教育について、悩んだり、不安に感じたりしていることがありますか。あるとすればどのようなことですか。(複数回答)



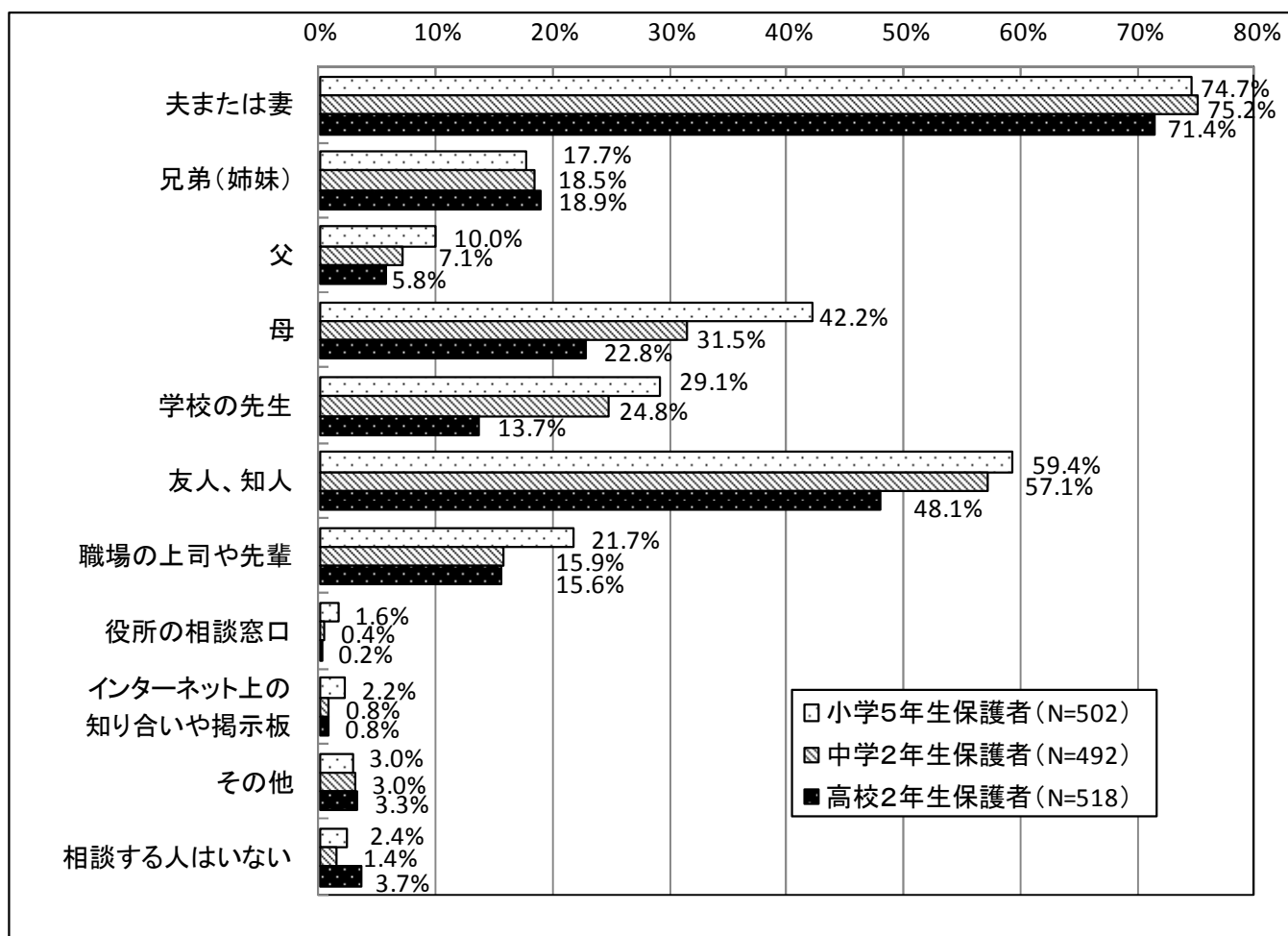
小学5年生の保護者では「子どもに対するしつけや教育に自信がもてない」、中学2年生・高校2年生の保護者では「子どもの進学や受験のことが心配である」の比率が最も高かった。

また、「子どもの基本的なあいさつなどの生活習慣が身につけていない」、「子どもに対するしつけや教育に自信がもてない」は、子どもの年代が上がるにつれて減少し、「子どもの就職のことが心配である」は、子どもの年代が上がるにつれて上昇する傾向にある。

2 相談相手

(1) 悩みを相談する相手

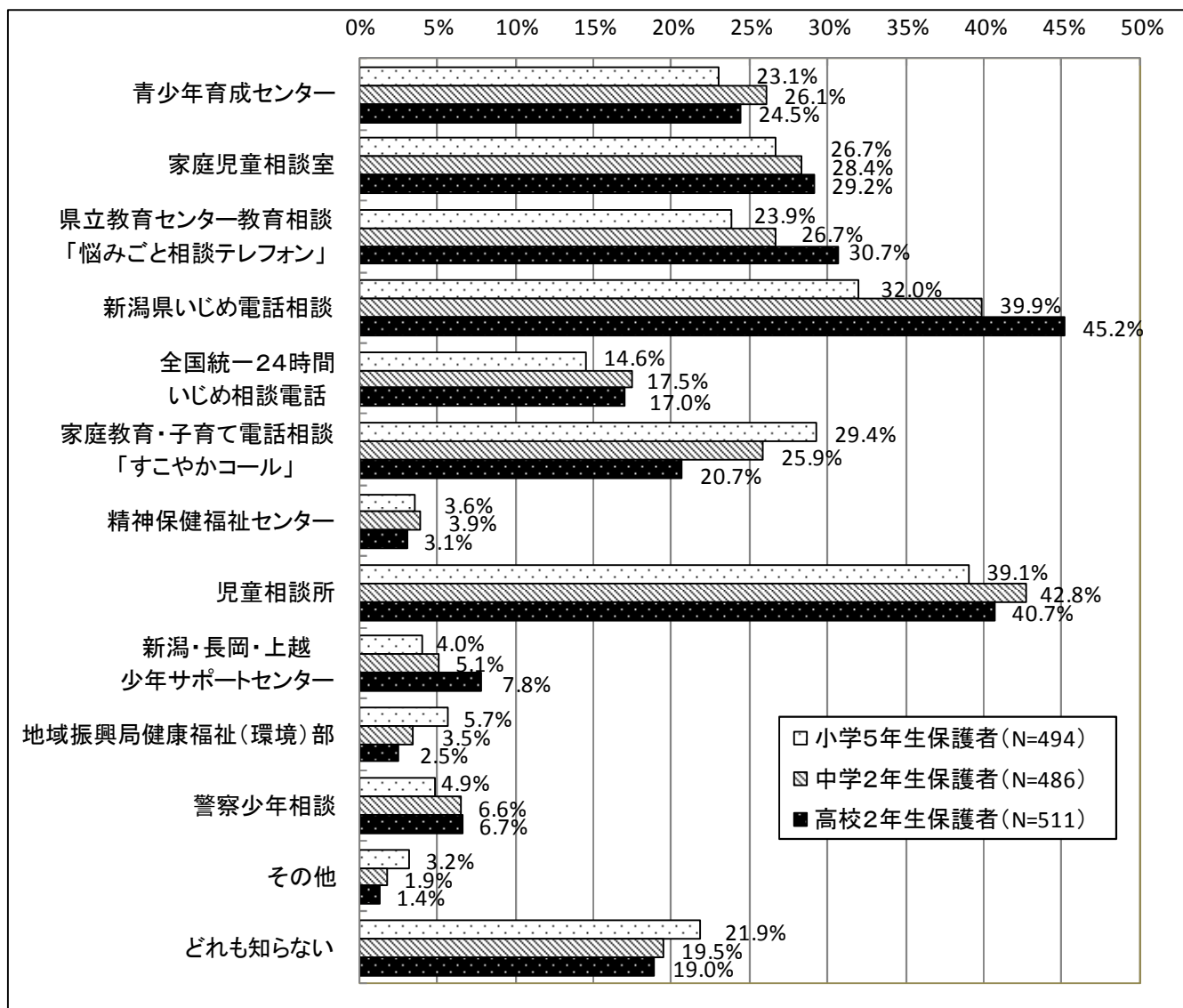
問. あなたは、お子さんの問題で、悩みや心配事があったときには、だれに相談しますか。
(複数回答)



全ての年代の保護者で「夫または妻」の比率が最も高く、70%以上が回答した。次いで、「友人、知人」と回答した比率が高かった。

(2) 相談窓口の認知状況

問. あなたは、悩みや心配事があった時に、いろいろな相談窓口があることを知っていますか。次の中からあなたが知っているものを選んでください。(複数回答)



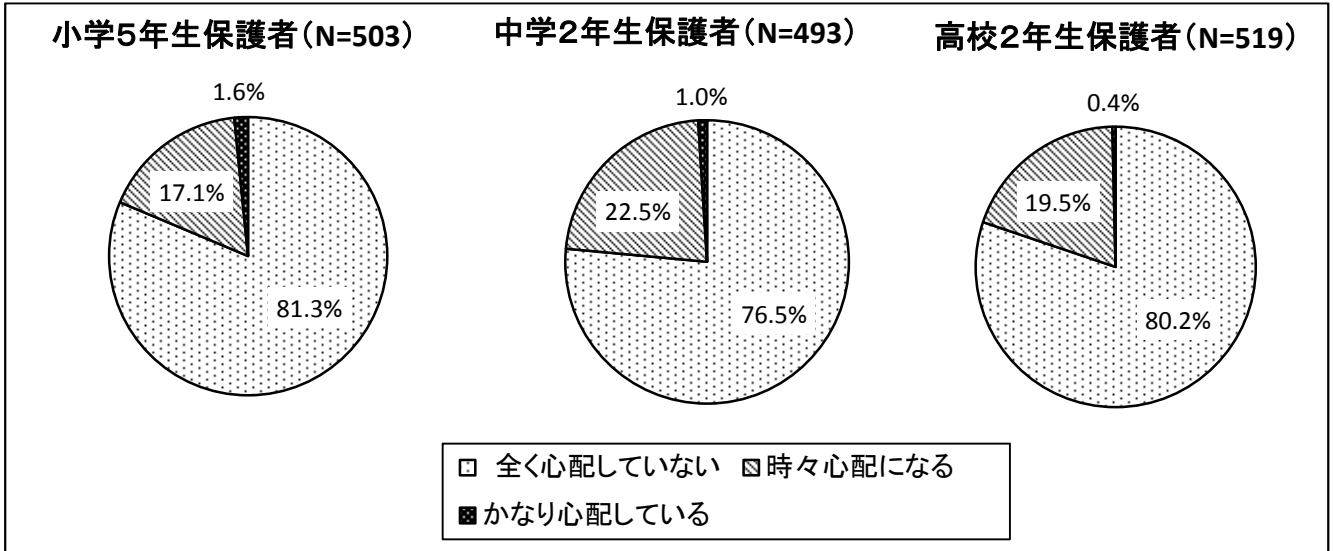
小学5年生・中学2年生の保護者では「児童相談所」、高校2年生の保護者では「新潟県いじめ電話相談」の比率が最も高かった。また、全ての年代で30%以上の回答があったのは、「児童相談所」「新潟県いじめ電話相談」である。

4 非行

1 非行についての考え

(1) 非行の心配

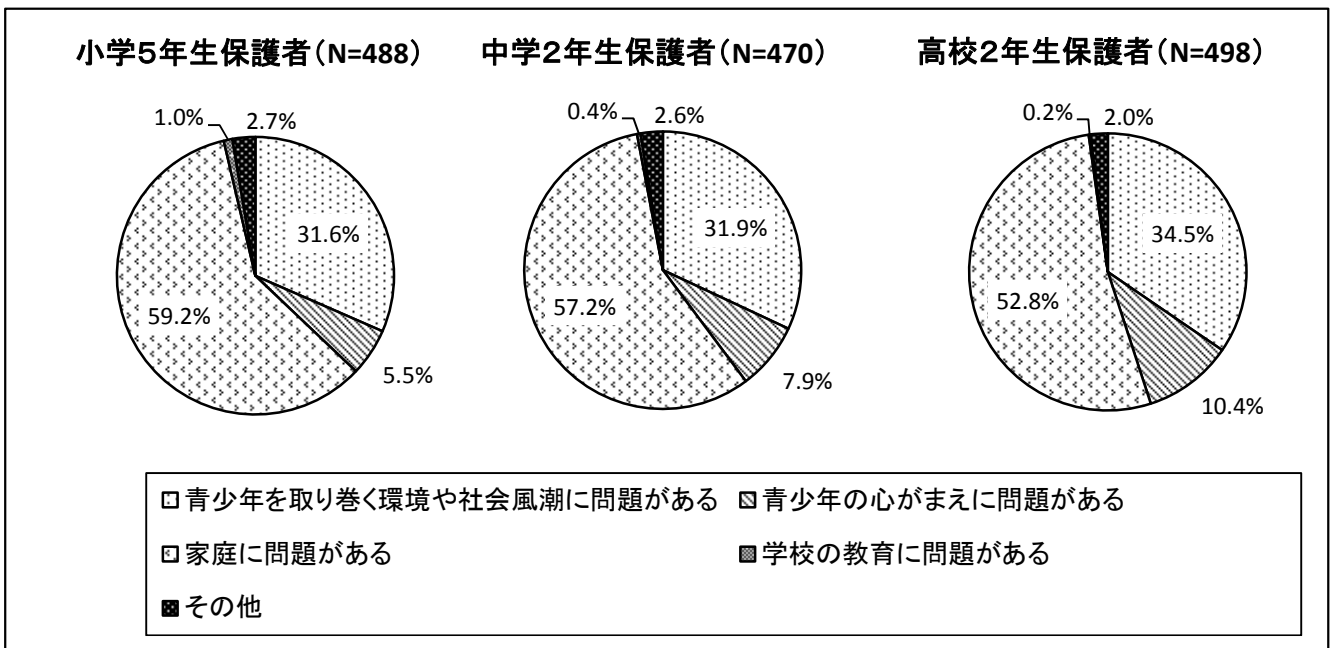
問. あなたは、お子さんが、いじめの加害者であったり、校内暴力、脱法ハーブ等の使用、夜遊び、出会い系サイトの閲覧などの非行に関わっているかもしれないと心配することがありますか。(単数回答)



全ての年代の保護者で「全く心配していない」の比率が最も高かった。「かなり心配している」と回答した保護者は少数であった。

(2) 非行の原因

問. あなたは、少年非行の一番の原因はどこにあると思いますか。(単数回答)



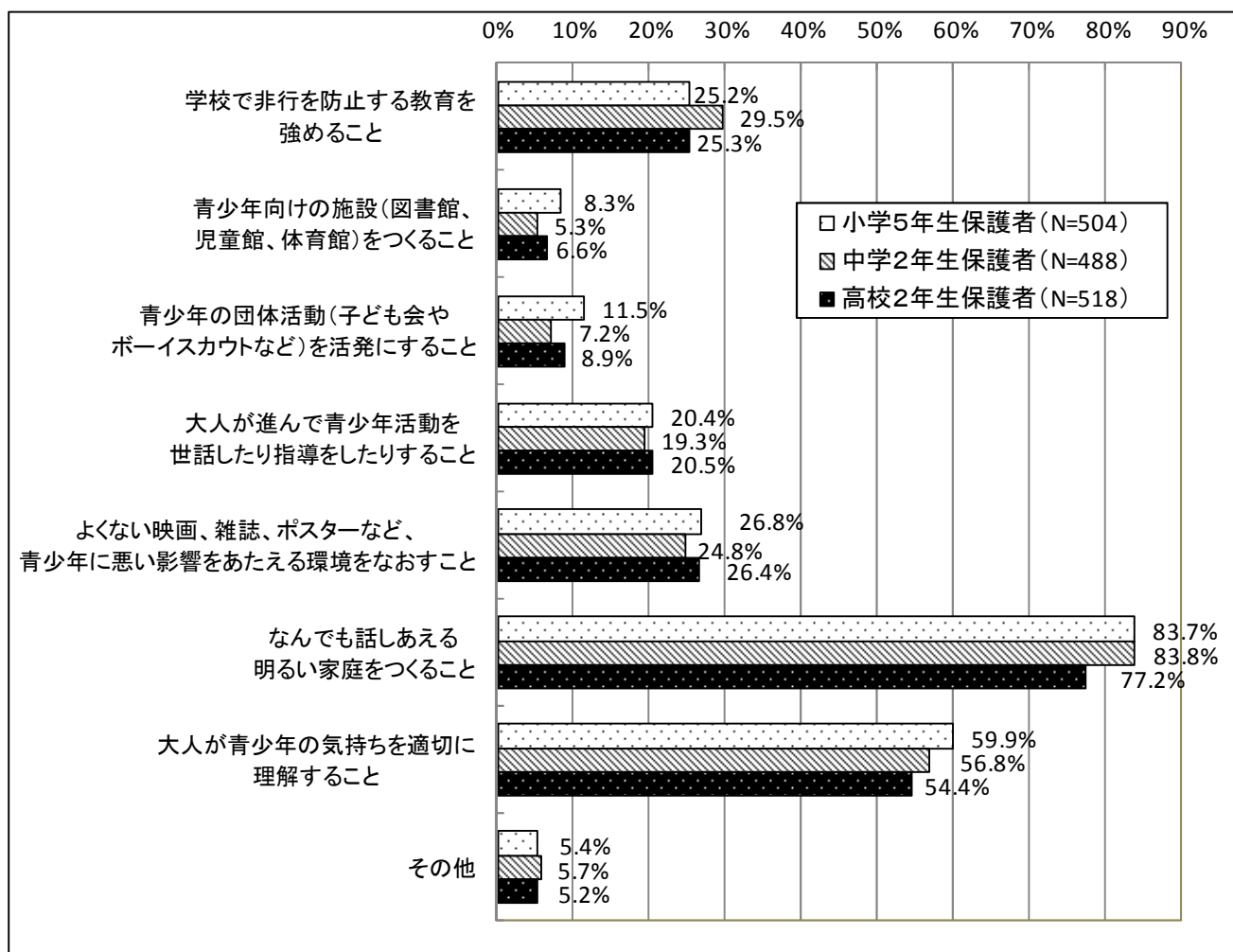
全ての年代の保護者で「家庭に問題がある」の比率が最も高かった。

次いで、「青少年を取り巻く環境や社会風潮に問題がある」の比率が高く、どの年代の保護者も同様の意識傾向にある。

2 非行防止対策

問. あなたは、青少年の非行を防止するために、どのようなことが必要だと思いますか。

(複数回答)



全ての年代の保護者で「なんでも話しあえる明るい家庭をつくること」と回答した比率が最も高かった。

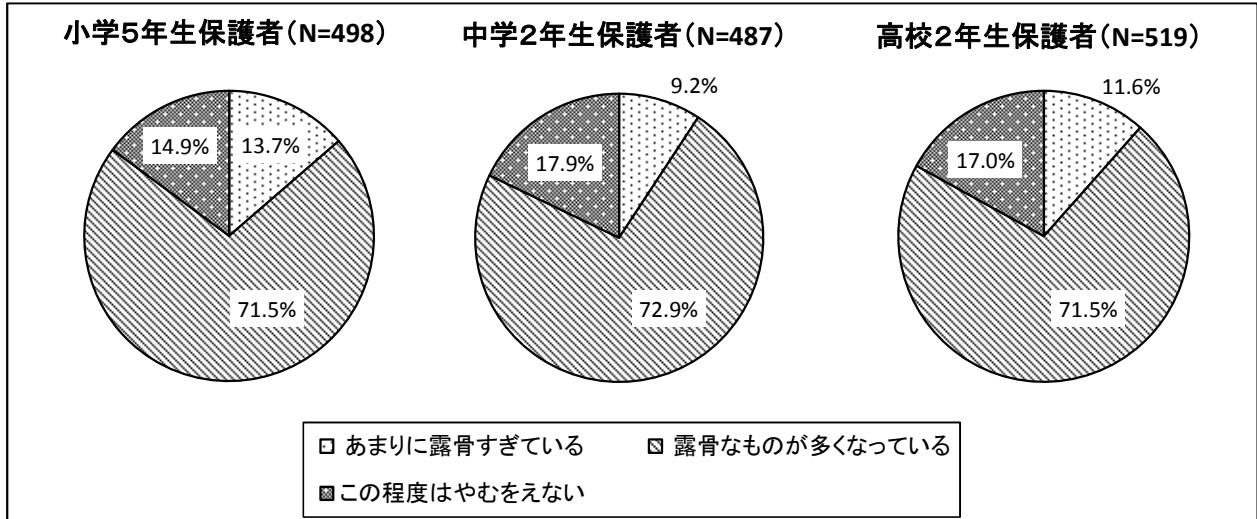
次いで、「大人が青少年の気持ちを適切に理解すること」の比率が高く、どの年代の保護者も50%以上が回答した。

5 性・暴力の情報

1 性描写の氾濫

(1) 性を扱ったテレビ・映画・雑誌等への感想

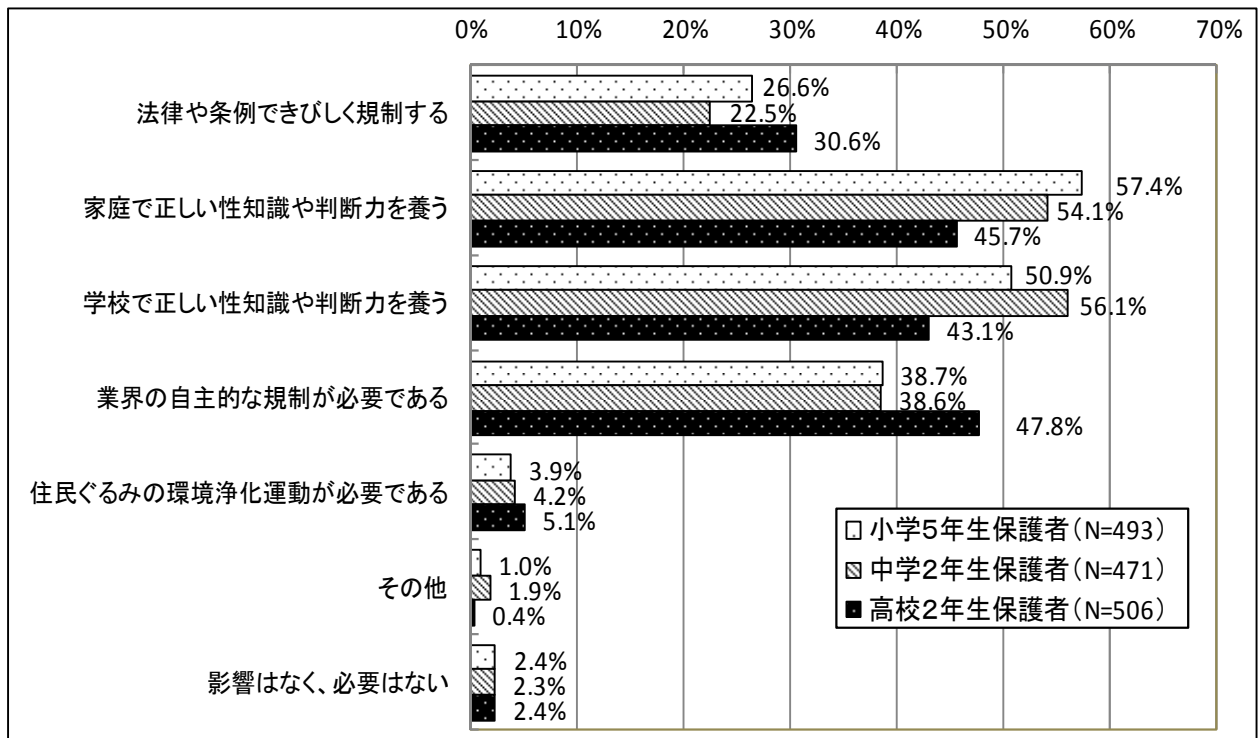
問. 最近、テレビや映画、雑誌、ポスターなどで、性を扱ったものが見受けられますが、あなたは、どのように感じていますか。(単数回答)



全ての年代の保護者で「露骨なものが多くなっている」の比率が最も高く、70%以上が回答した。どの年代の保護者も同様の意識傾向にある。

(2) 性描写が青少年に与える影響への対策

問. 前問のようなことが青少年に影響を与えているとしたら、あなたはどのような対策が必要だと思いますか。(2つまで回答)

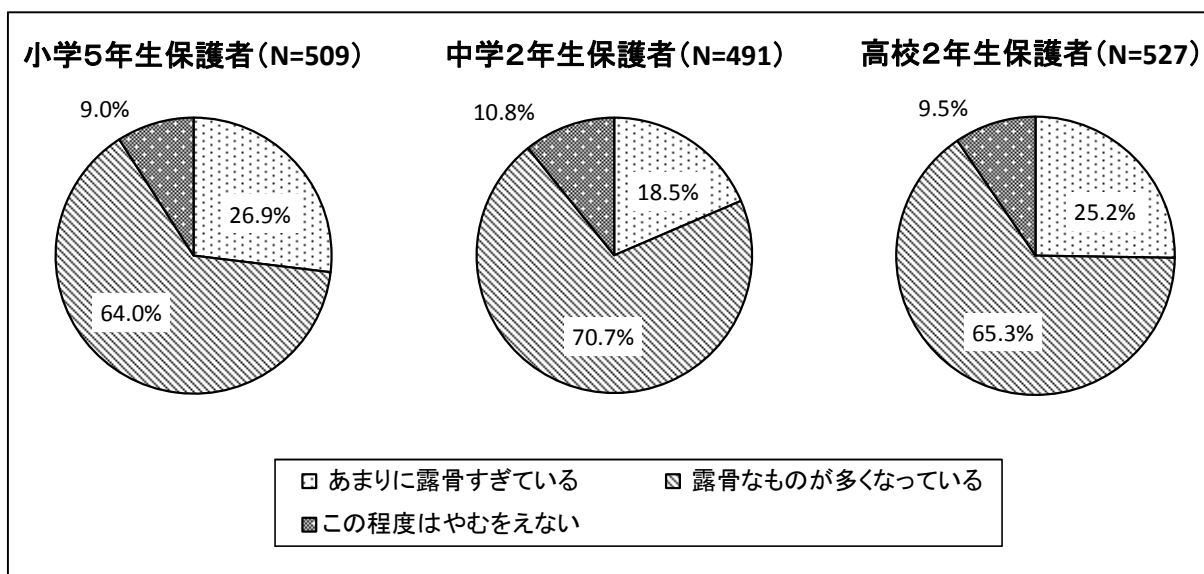


小学5年生の保護者では「家庭で正しい性知識や判断力を養う」、中学2年生の保護者では「学校で正しい性知識や判断力を養う」、高校2年生の保護者では「業界の自主的な規制が必要である」の回答の比率が最も高かった。

2 暴力描写の氾濫

(1) 暴力や残酷な内容を扱ったテレビ・映画・雑誌等への感想

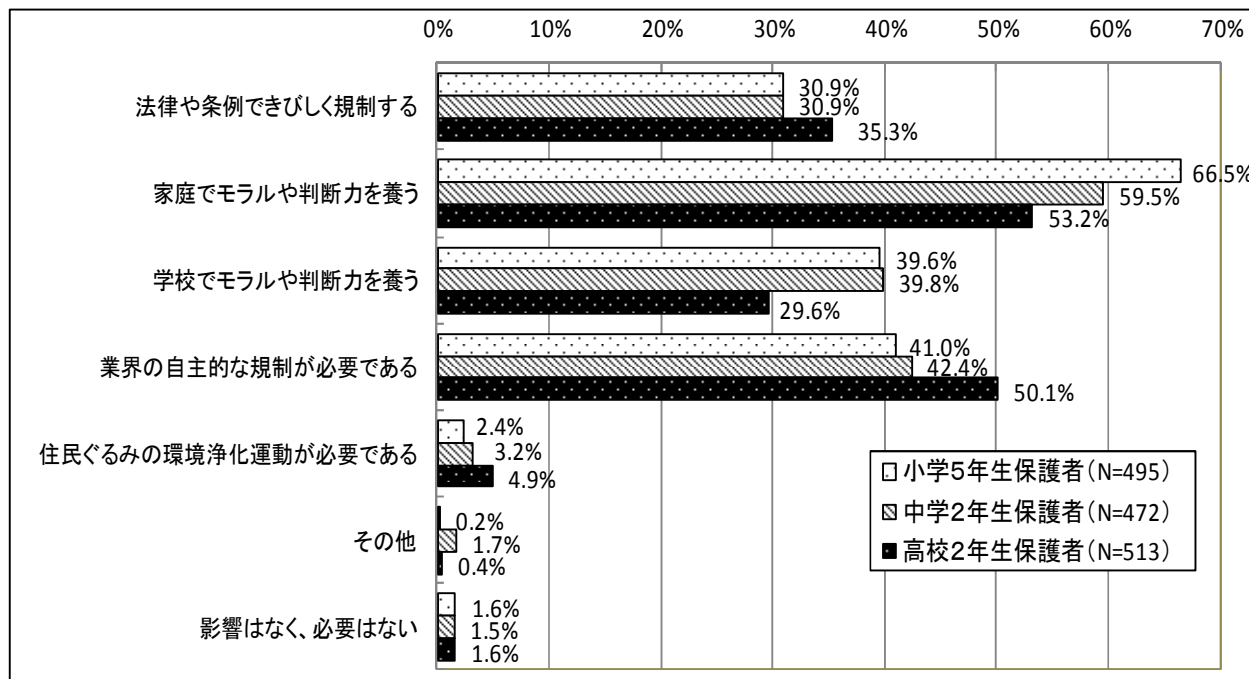
問. 最近、テレビや映画、雑誌、ポスターなどで、暴力や残酷な内容のものが見受けられますが、あなたは、どのように感じていますか。(単数回答)



全ての年代の保護者で「露骨なものが多くなっている」の比率が最も高く、どの年代の保護者も同様の意識傾向にある。

(2) 暴力や残酷な描写が青少年に与える影響への対策

問. 前問のようなことが青少年に影響を与えているとしたら、あなたはどのような対策が必要だと思いますか。(2つまで回答)

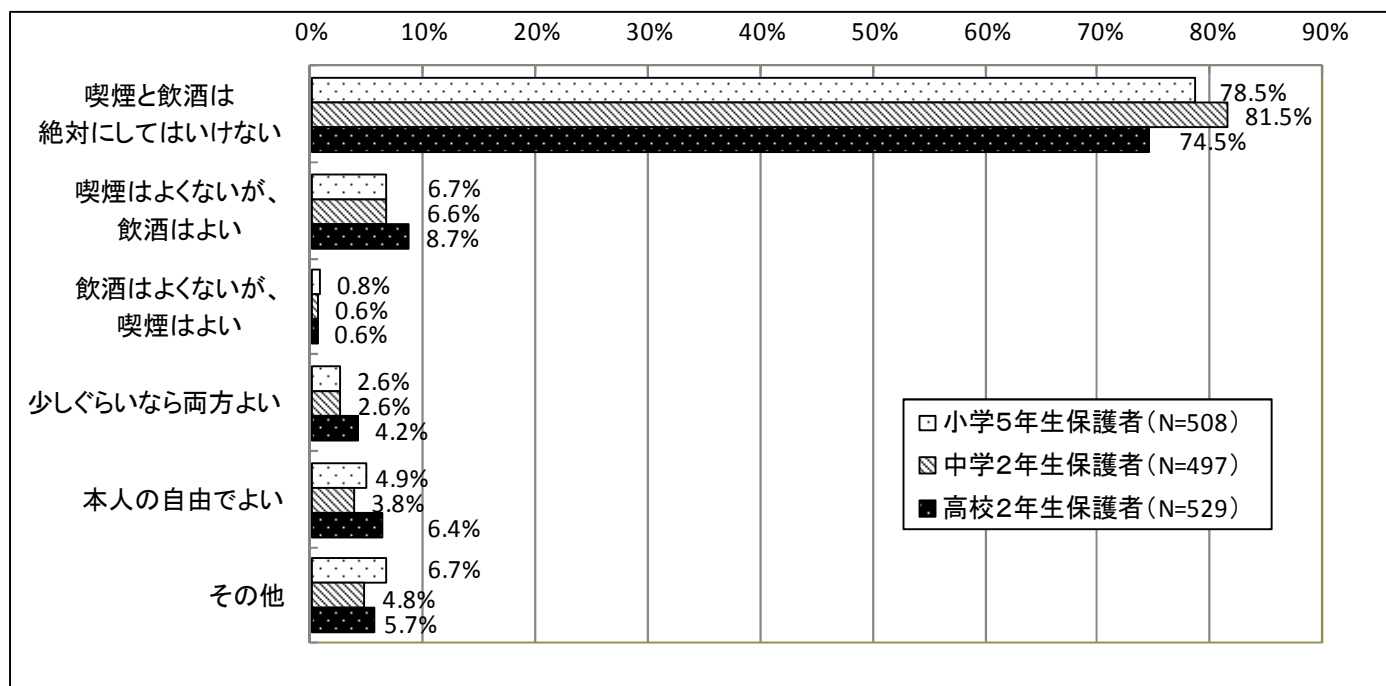


全ての年代の保護者で「家庭でモラルや判断力を養う」の比率が最も高かった。他の回答では、「業界の自主的な規制が必要である」「学校でモラルや判断力を養う」などの回答が多かった。

6 喫煙・飲酒についての考え

問. 未成年者の喫煙や飲酒について、あなたの考えに一番近いものを選んでください。

(単数回答)



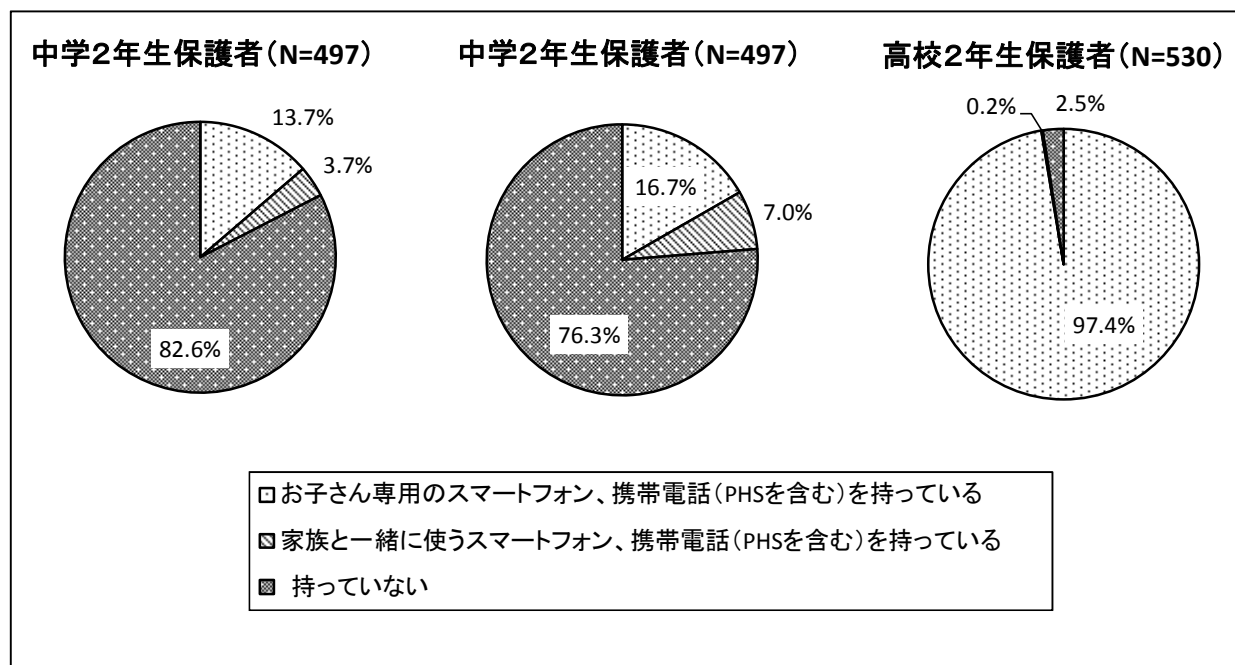
全ての年代の保護者で「喫煙と飲酒は絶対にしてはいけない」の比率が最も高かった。次いで、「喫煙はよくないが、飲酒はよい」の比率が高く、どの年代の保護者も同様の意識傾向にある。

7 子どものスマートフォン・携帯電話の利用状況

1 所有状況

問. あなたのお子さんは、スマートフォン・携帯電話(PHSを含む)を持っていますか。

(単数回答)

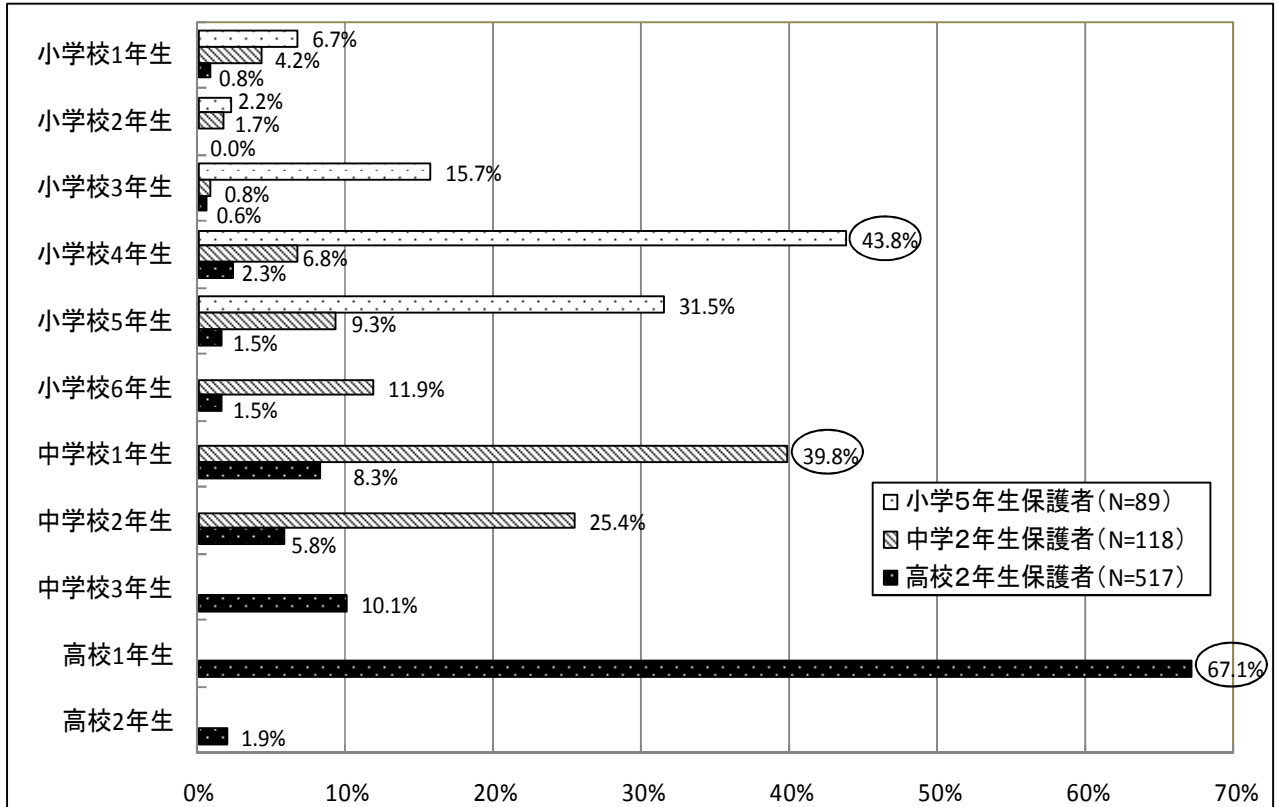


スマートフォン・携帯電話の所有率(子ども専用の携帯電話を持たせていると回答した者)は、小学5年生の保護者で約14%、中学2年生の保護者で約17%、高校2年生の保護者で約97%であった。

2 付与時期

問. あなたのお子さんが、スマートフォン・携帯電話(PHSを含む)を持ったのは何年生の頃ですか。(単数回答)

(7-1で「お子さん専用のスマートフォン・携帯電話(PHSを含む)を持っている」または「家族と一緒に使うスマートフォン・携帯電話(PHSを含む)を持っている」回答者のみ)

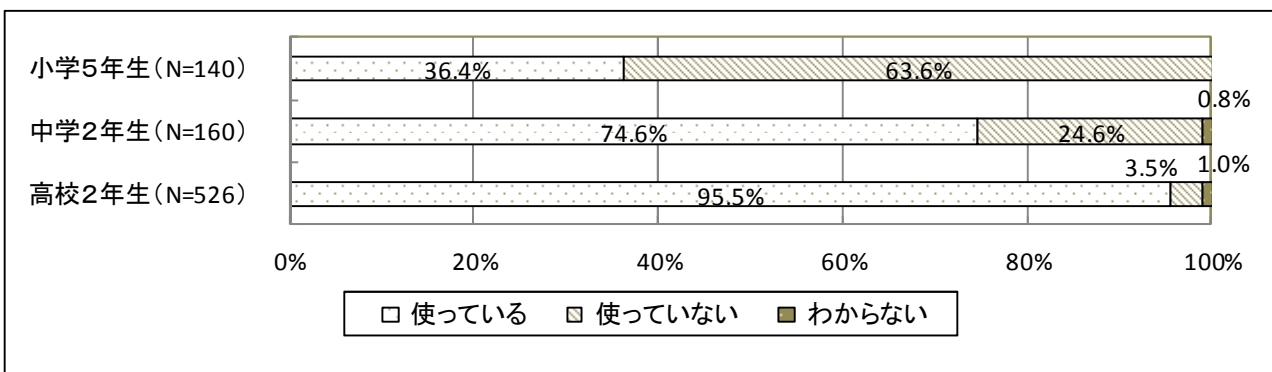


小学5年生の保護者では小学4年生時に、中学2年生の保護者では中学1年生時に、高校2年生の保護者では高校1年生時に持たせたと回答した比率が最も高く、青少年の回答と大きな差異はなかった。

3 インターネットの利用

問. あなたのお子さんは、携帯電話でインターネットを使っていますか。(単数回答)

(7-1で「お子さん専用のスマートフォン・携帯電話(PHSを含む)を持っている」または「家族と一緒に使うスマートフォン・携帯電話(PHSを含む)を持っている」回答者のみ)

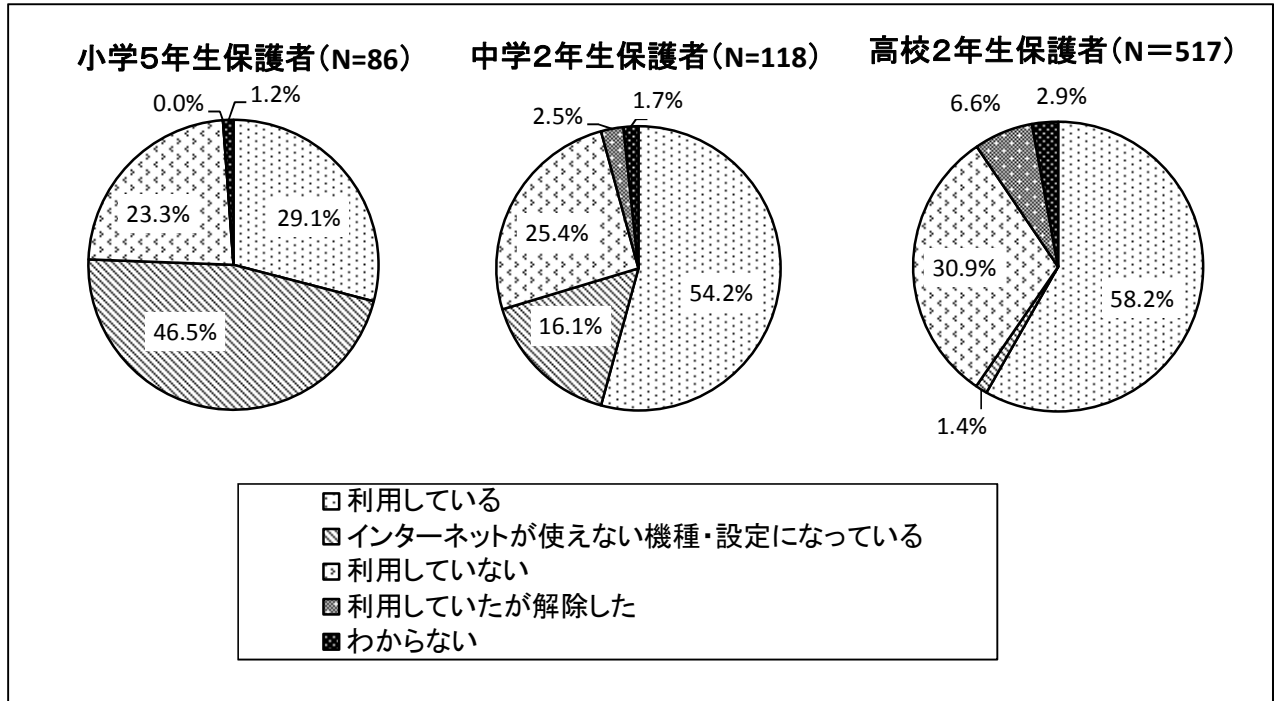


インターネットを使っていると回答したのは、小学5年生の保護者で約36%、中学2年生の保護者で約75%、高校2年生の保護者で約96%となっている。

4 フィルタリングの利用

問. あなたのお子さんが使用しているスマートフォン・携帯電話にフィルタリングを使っていますか。(単数回答)

(7-1で「お子さん専用のスマートフォン・携帯電話(PHSを含む)を持っている」または「家族と一緒に使うスマートフォン・携帯電話(PHSを含む)を持っている」回答者のみ)

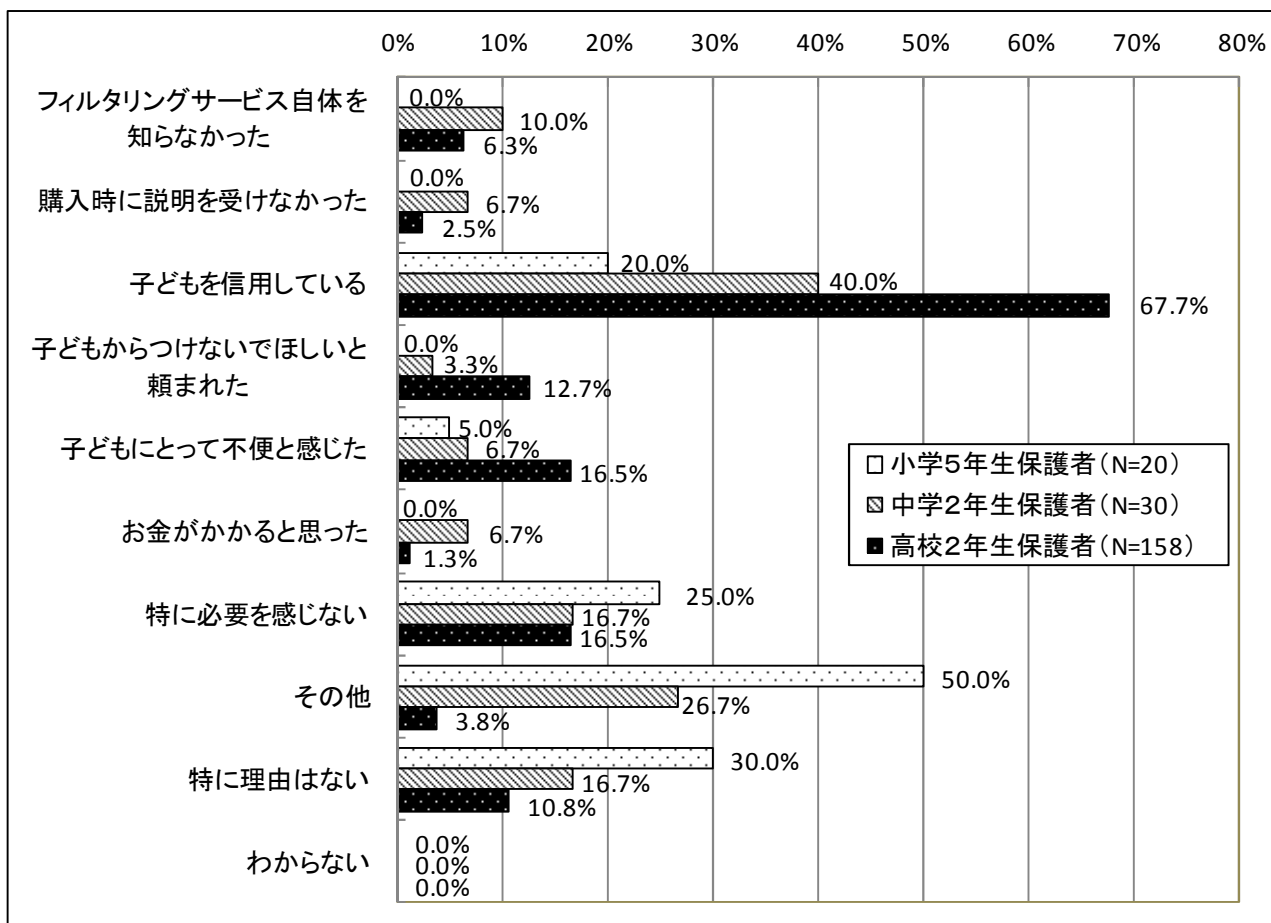


携帯電話のフィルタリング利用率(インターネットが使えない機種・設定を含む)は、小学5年生の保護者は約76%、中学2年生の保護者は約70%、高校2年生の保護者は約60%の回答となっている。

5 フィルタリングを利用していない理由

問. フィルタリングを使っていないのはなぜですか。(複数回答)

(7-4で「使っていない」回答者のみ)



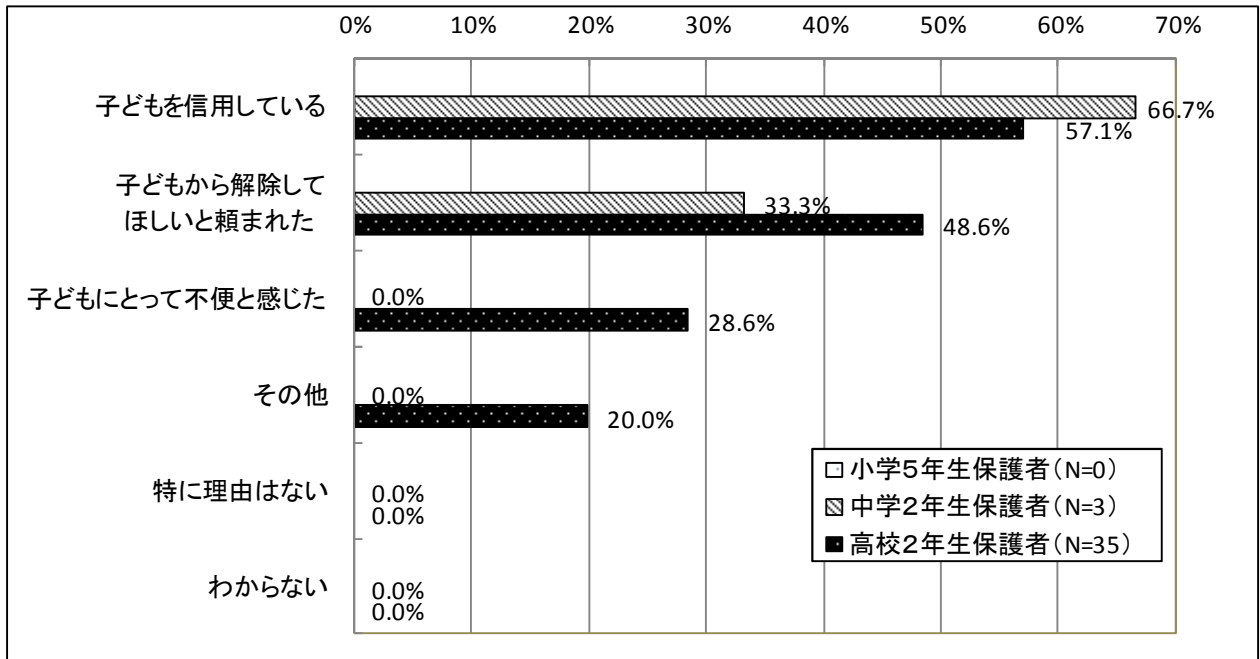
中学2年生・高校2年生の保護者では「子どもを信用している」と回答した比率が最も高かった。

また、小学5年生の保護者の回答では「その他」が最も高く、内容としては「キッズ携帯のため」との理由がほとんどであった。中学2年生の保護者の「その他」の回答では「親(保護者)の携帯等を一緒に利用しているため」との理由が主であった。

6 フィルタリングを解除した理由

問. フィルタリングを解除したのはなぜですか。(複数回答)

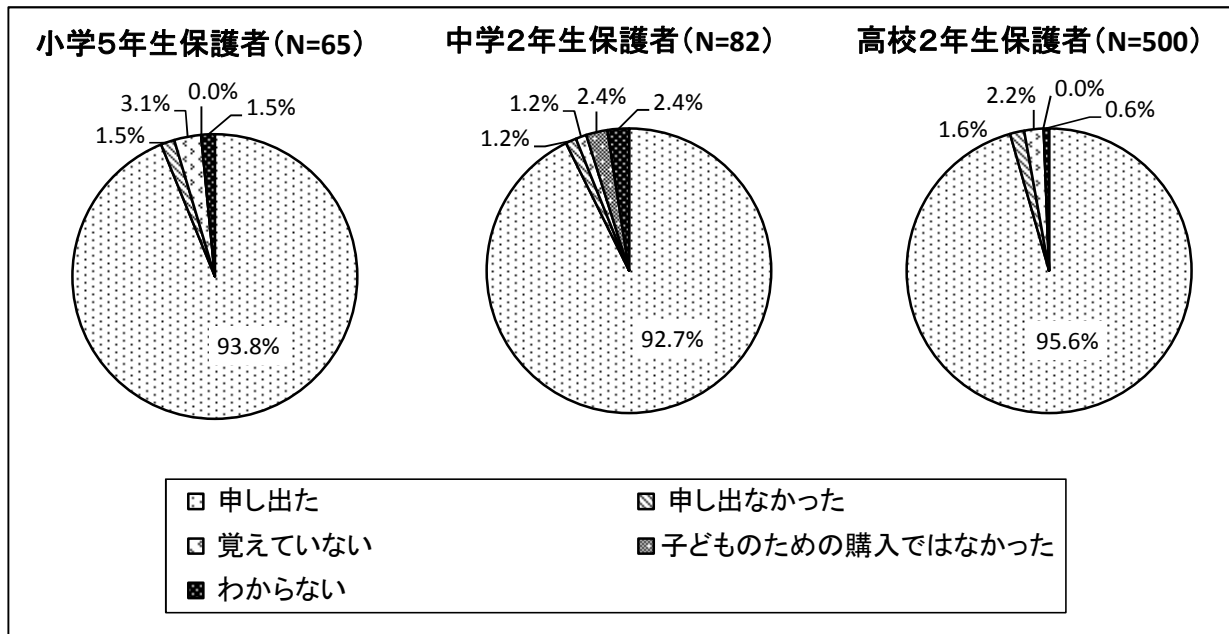
(7-4で「使っていたが、解除した」回答者のみ)



中学2年生・高校2年生の保護者では、フィルタリングを解除した理由として、「子どもを信用している」が最も高かった。次いで、「子どもから解除してほしいと頼まれた」であった。

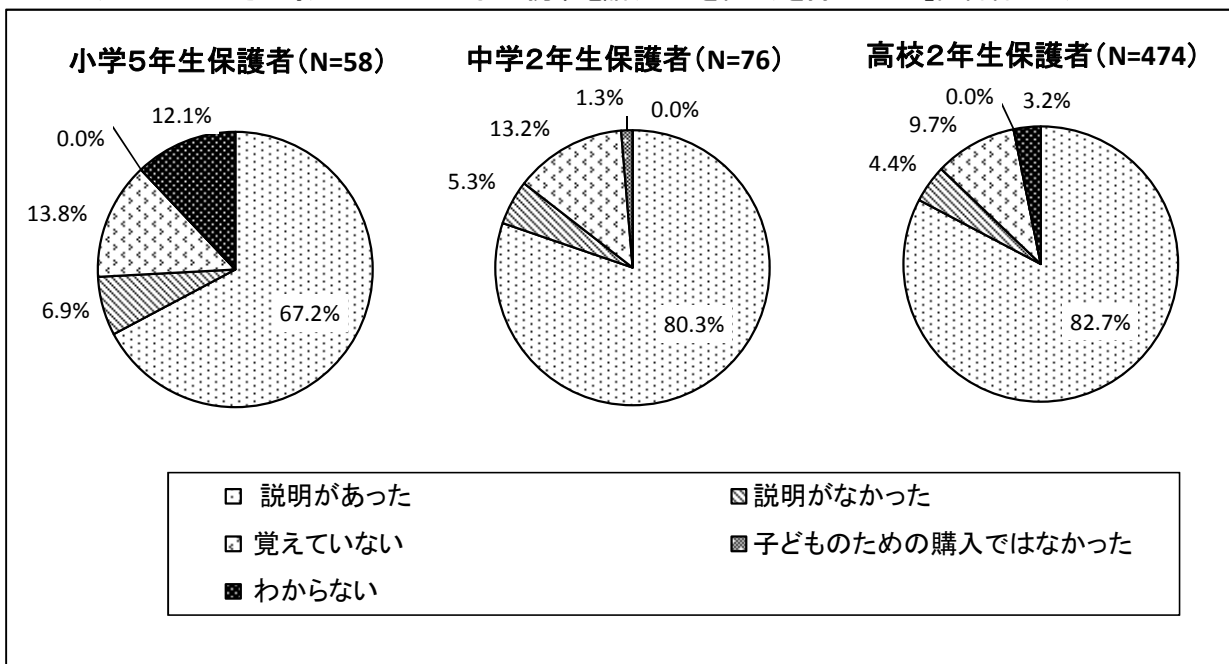
なお、小学5年生保護者では、フィルタリングを使用していたが、解除したと回答した者がいなかった。

7 スマートフォン・携帯電話を購入する際、子どもが使用する旨を販売業者に伝えたか
 問. お子さんのためにスマートフォン・携帯電話を購入する際、販売業者に対して「子どもが使用する」旨を申し出ましたか。(単数回答)
 (7-1で「お子さん専用のスマートフォン・携帯電話(PHSを含む)を持っている」回答者のみ)



「子どもが使用する」旨を申し出た保護者は、全ての年代の保護者で95%前後となっている。

8 販売業者からフィルタリングに関する説明を受けたか
 問. お子さんのためにスマートフォン・携帯電話を購入する際、販売業者からフィルタリングに関する説明がありましたか。(単数回答)
 (7-1で「お子さん専用のスマートフォン・携帯電話(PHSを含む)を持っている」回答者のみ)



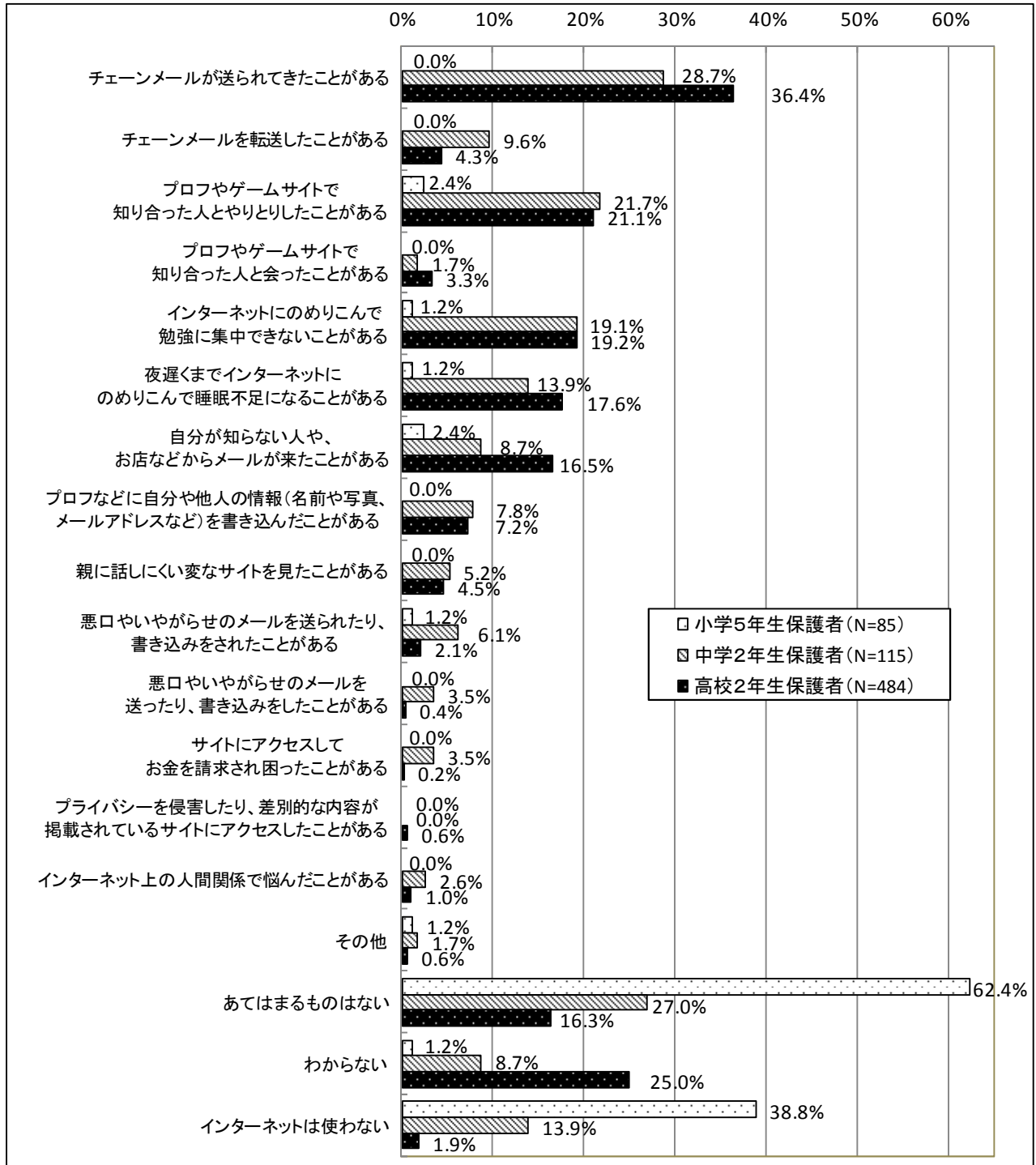
フィルタリングに関する説明を受けた保護者は、小学5年生の保護者で約67%、中学2年生の保護者で約80%、高校2年生の保護者で約83%となっている。

8 保護者による子どもの管理

1 子どものトラブル等の経験に対する認識

問. 次の中に、お子さんにあてはまることあると思いますか。(複数回答)

(7-1で「お子さん専用のスマートフォン・携帯電話(PHSを含む)を持っている」または「家族と一緒に使うスマートフォン・携帯電話(PHSを含む)を持っている」回答者のみ)



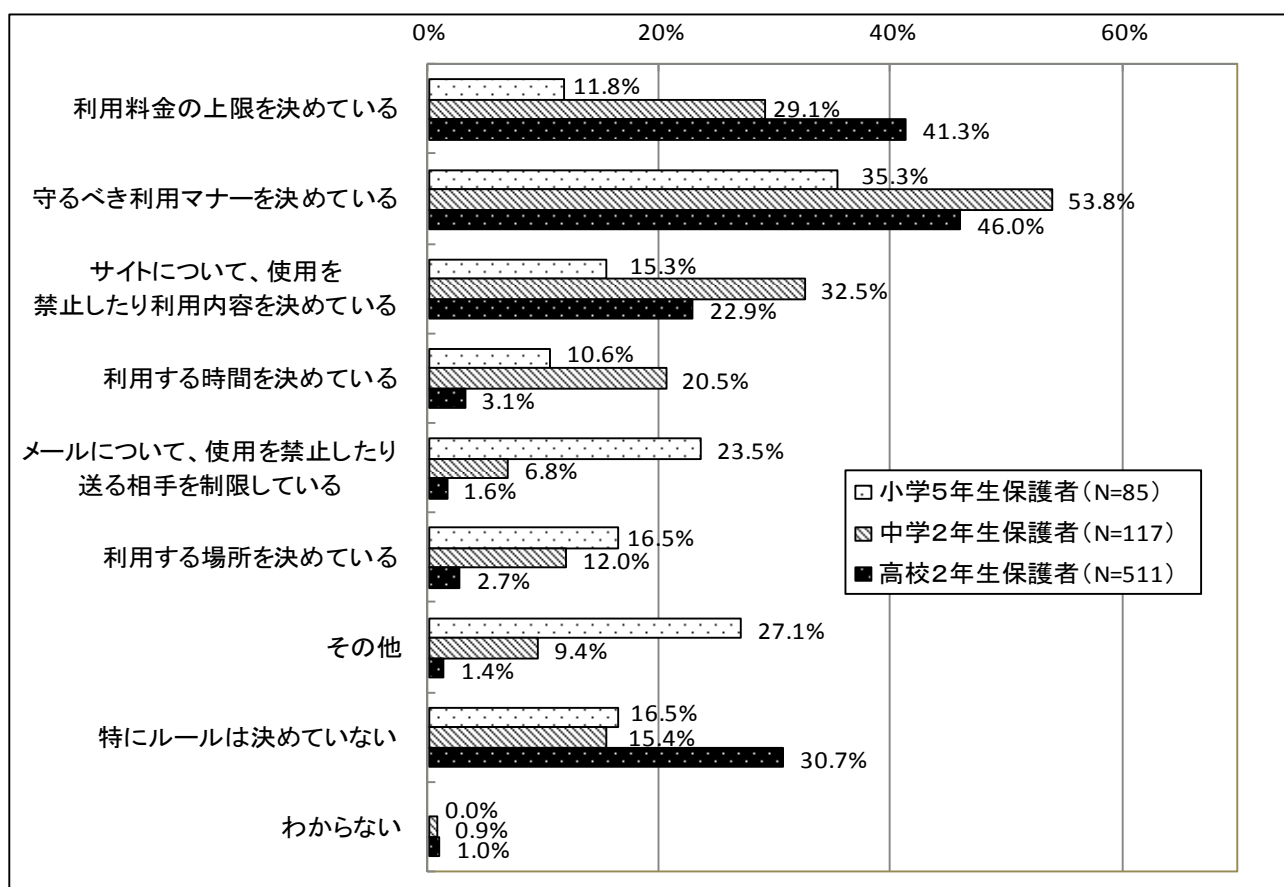
- 全体的に児童・生徒と保護者との回答に乖離がある。(P30参照)
- 「チェーンメールが送られてきたことがある」は中学2年生の保護者の約29%、高校2年生の保護者の約36%が回答しているが、生徒の回答では、中学2年生の約47%、高校2年生の70%が経験していると回答しており、認識に差がある。

- ・「プロフやゲームサイトで知り合った人とやりとりしたことがある」は中学2年生・高校2年生の保護者の約21%が回答しているが、中学2年生では約28%高校2年生の約40%が経験していると回答している。
- ・「プロフやゲームサイトで知り合った人と会ったことがある」は高校2年生の保護者の約3%が回答しているが、実際は高校2年生の10%が経験していると回答している。

2 家庭のルール

問. あなたは、お子さんが携帯電話を使うことについて、何かルールを決めていますか。
(複数回答)

(7-1で「お子さん専用のスマートフォン・携帯電話(PHSを含む)を持っている」または「家族と一緒に使うスマートフォン・携帯電話(PHSを含む)を持っている」回答者のみ)



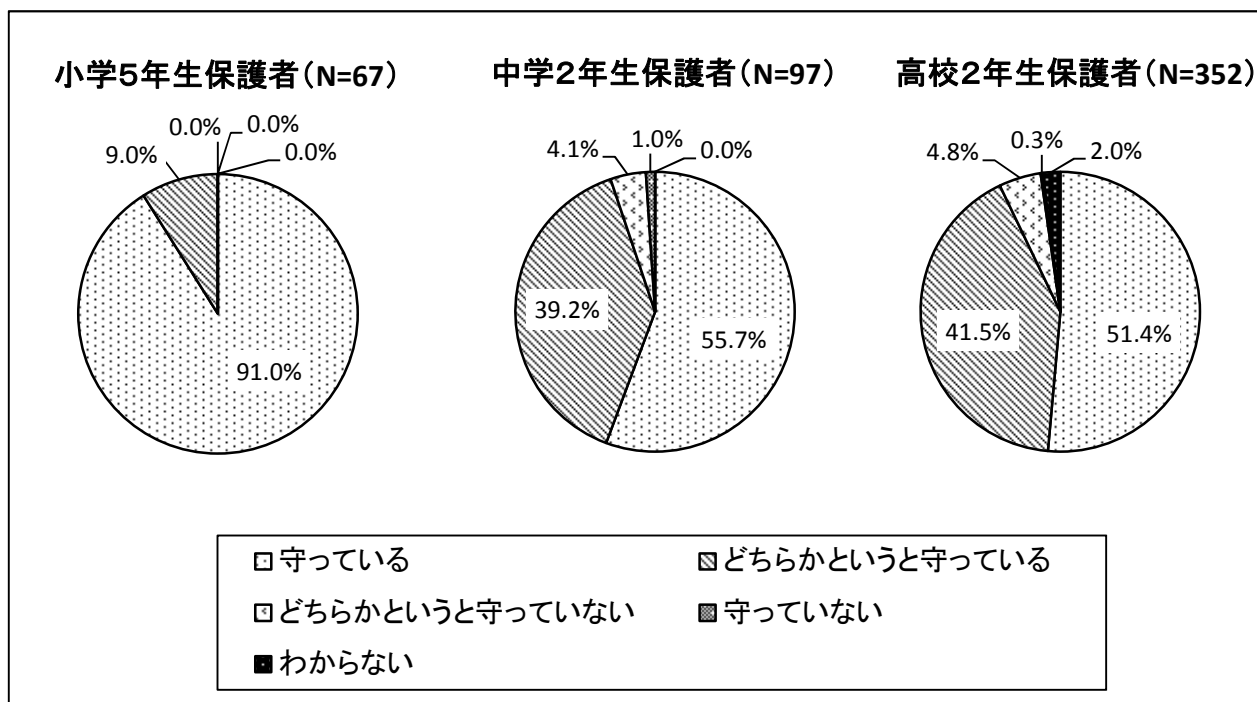
全ての年代の保護者で「守るべき利用マナーを決めている」と回答した比率が最も高かった。

「特にルールは決めていない」と回答したのは、小学5年生の保護者で約17%、中学2年生の保護者で約15%、高校2年生の保護者で約31%であった。

なお、「特にルールは決めていない」と回答した青少年は、小学5年生で約23%、中学2年生で約34%、高校2年生で約60%と、親子の認識にギャップがある。

3 ルールの遵守

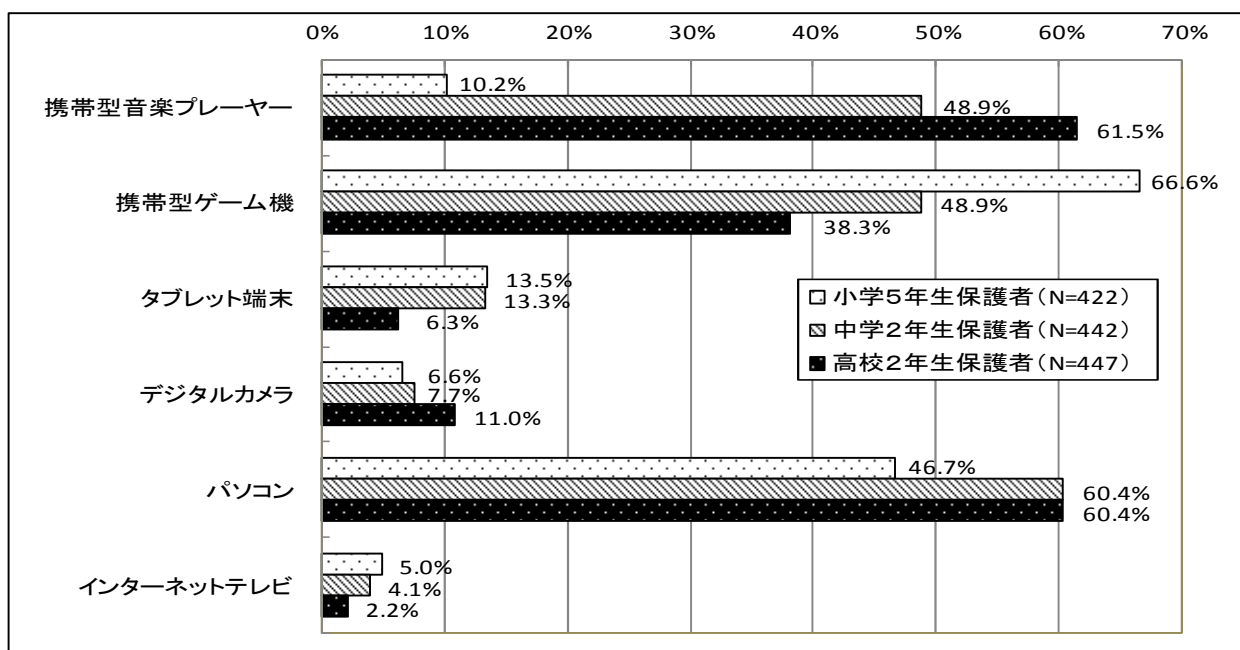
問. あなたのお子さんは、家庭で決めたルールを守っていますか。(単数回答)
 (8-2で「特にルールは決めていない」及び「わからない」以外を1つ以上回答した者のみ)



「守っている」、「どちらかというと守っている」と回答したのは、小学5年生の保護者で100%、中学2年生の保護者で約95%、高校2年生の保護者で約93%となっており、青少年の回答と大きな差はない。

4 その他の機器

問. あなたのお子さんは、スマートフォンや携帯電話の他にインターネットに接続できる機器を使用して(持って)いますか。(複数回答)

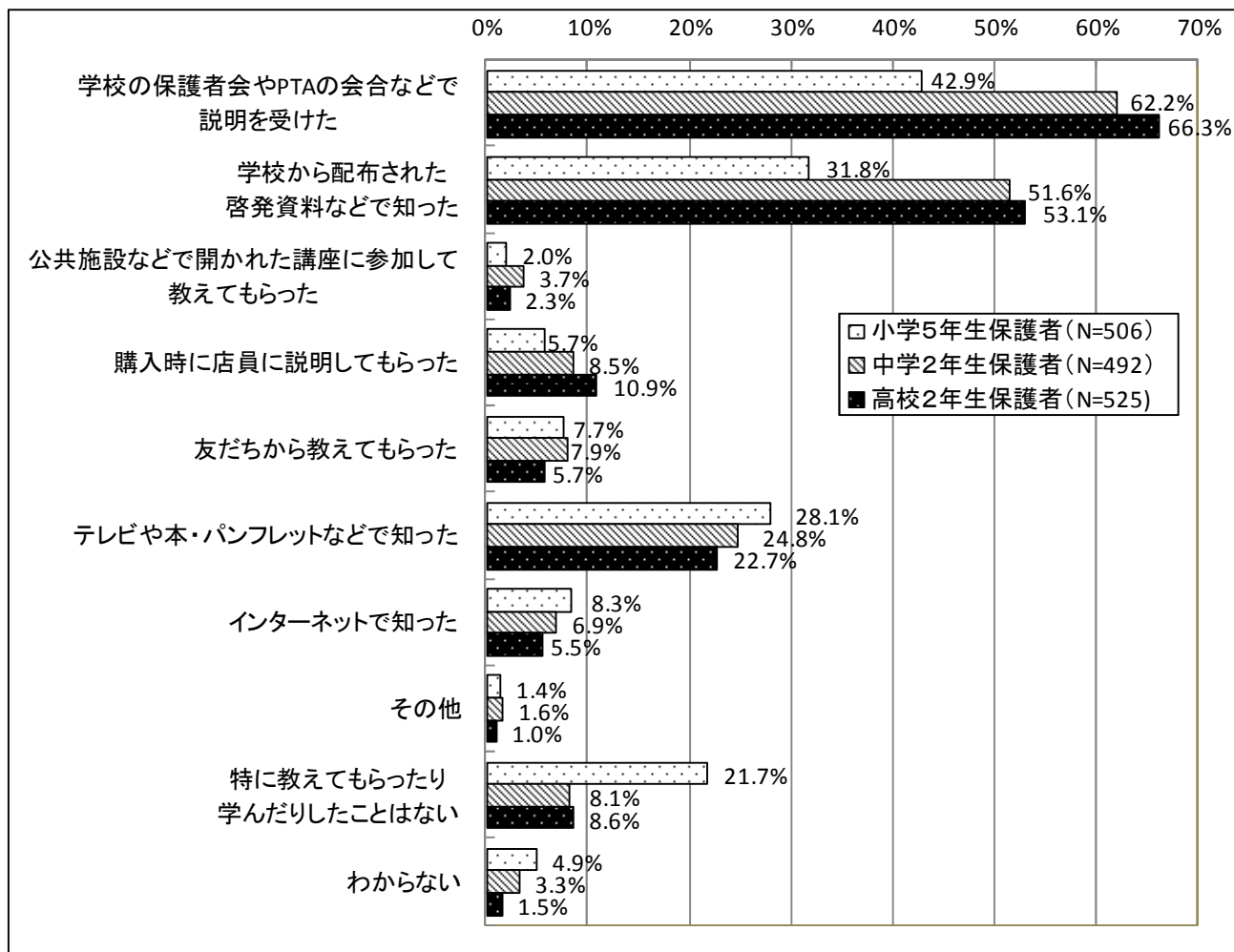


小学5年生の保護者は「携帯型ゲーム機」、中学2年生の保護者では「パソコン」、高校2年生の保護者は「携帯型音楽プレーヤー」の比率が最も高かった。

9 インターネットに関する保護者の認識

1 インターネットに関する啓発や学習の経験

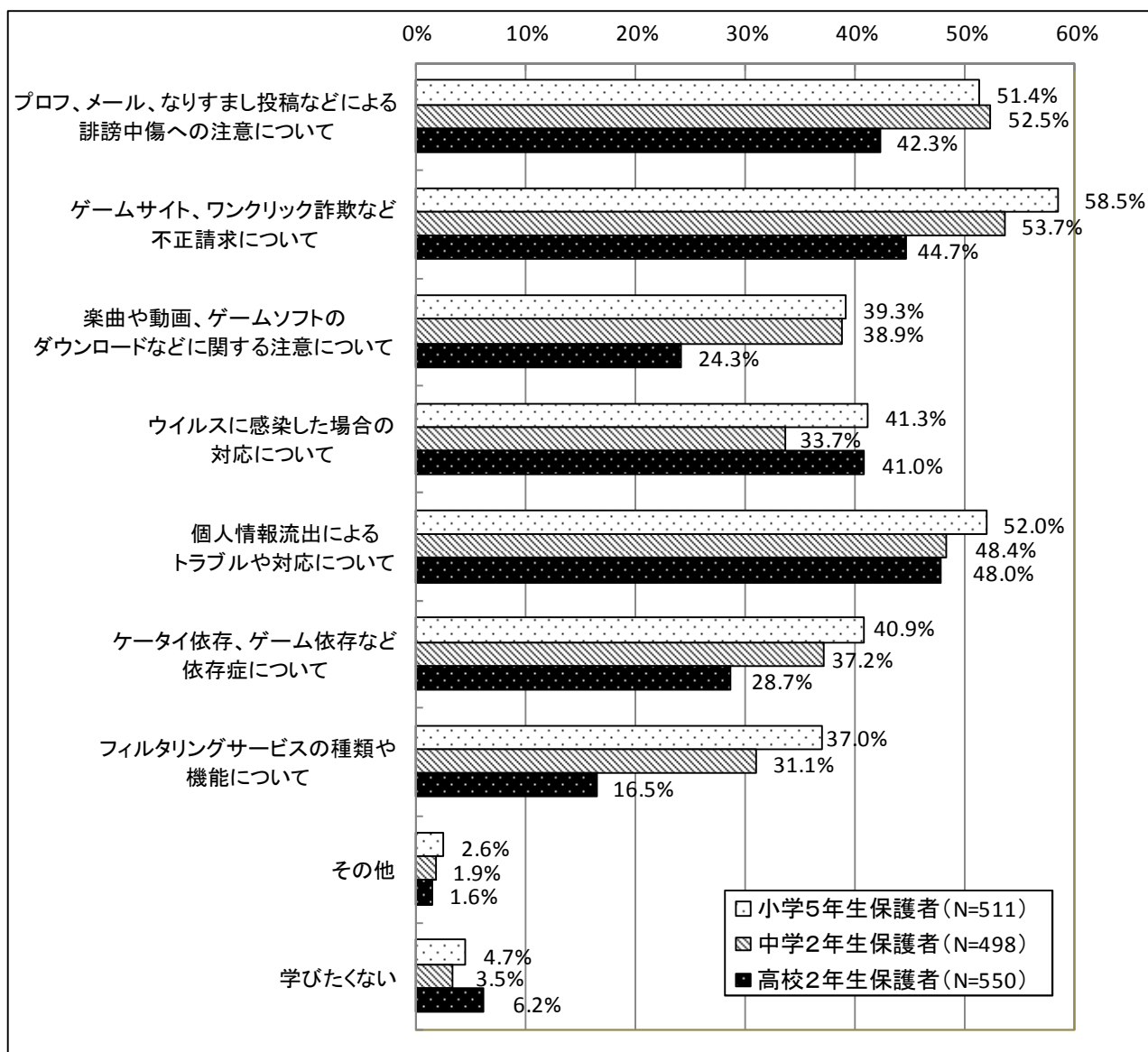
問. あなたは、有害サイトやネットいじめの問題など、携帯電話(インターネット)の危険性について、これまで説明を受けたり学んだりしたことがありますか。(複数回答)



全ての年代の保護者で「学校の保護者会やPTAの会合などで説明を受けた」と回答した比率が最も高かった。次点では、「学校から配布された啓発資料で知った」であった。

2 インターネットに関する学習意向

問. あなたは、インターネットの使用に関して、どのようなことについて予防策や対処方法を学びたいですか。(単数回答)



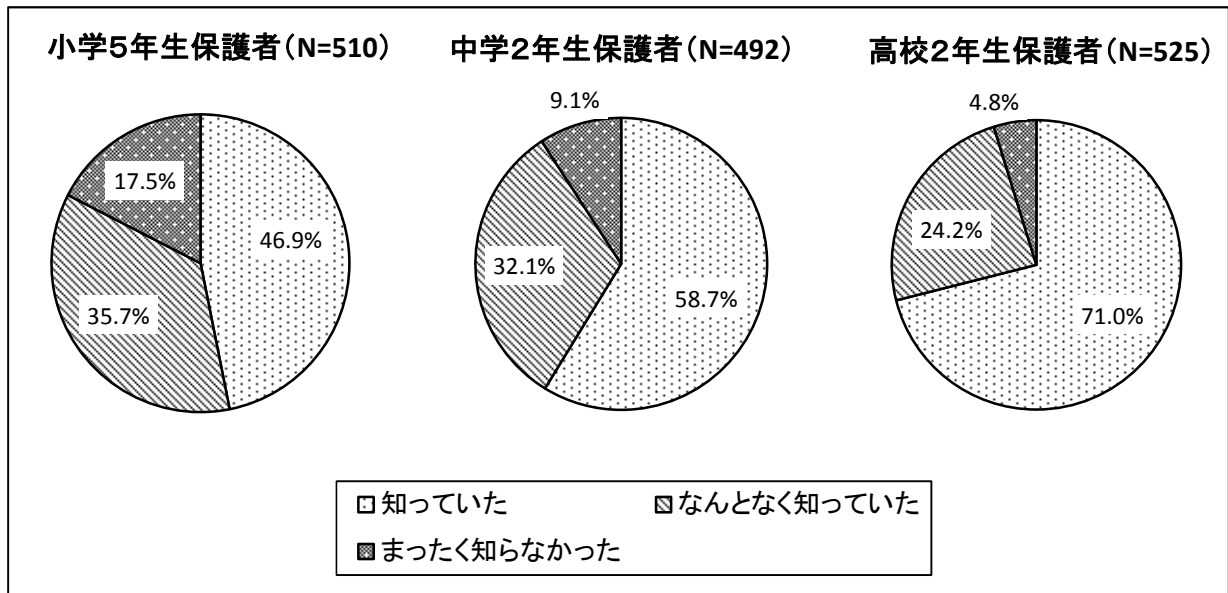
小学5年生・中学2年生の保護者では「ゲームサイト、ワンクリック詐欺などの不正請求について」が、高校2年生の保護者では「個人情報流出によるトラブルや対応について」が最も高くなっている。

他の回答では、「プロフ、メール、なりすまし投稿などによる誹謗中傷への注意について」の比率が高かった。

3 フィルタリングの認知度

問. あなたは、このアンケートに答えるまで、フィルタリングとは何かを知っていましたか。

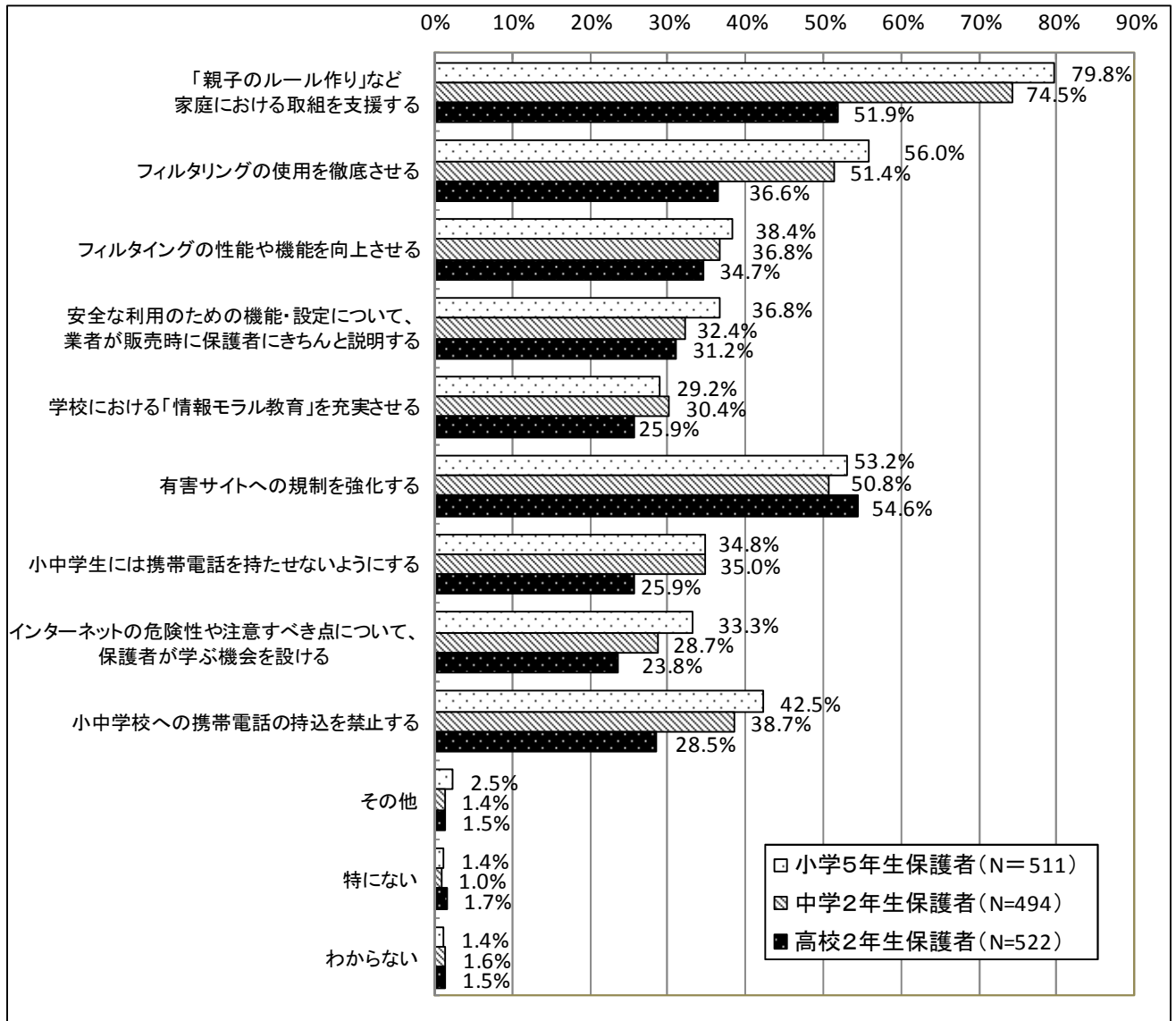
(単数回答)



フィルタリングについて、「知っていた」、「なんとなく知っていた」と回答したのは、小学5年生の保護者で約83%、中学2年生の保護者で約91%、高校2年生の保護者で約95%となっている。

4 子どものインターネット利用に必要な取組

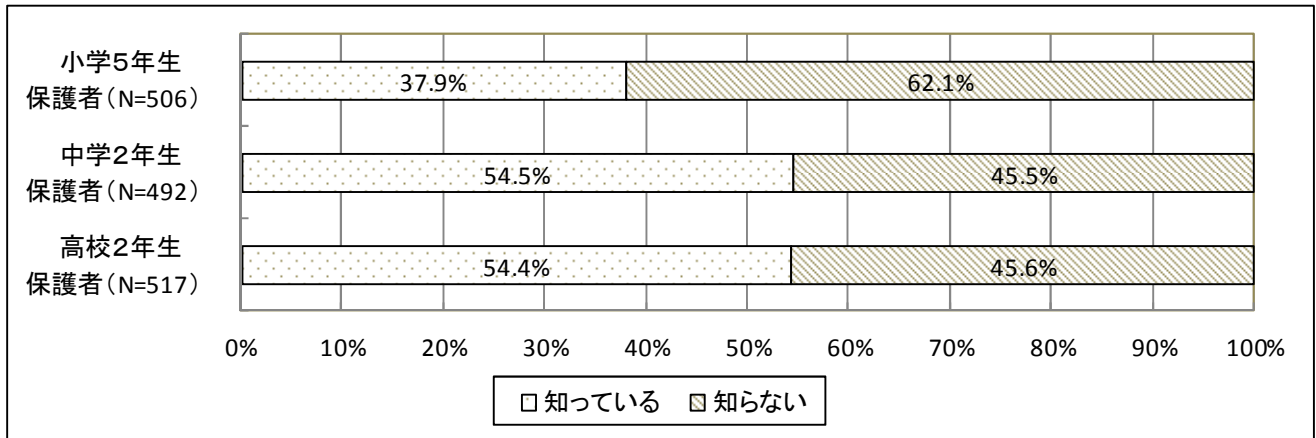
問. あなたは、子どもの携帯電話(インターネット)の利用について、どのような取組が必要だと思いますか。(複数回答)



小学5年生・中学2年生の保護者では「親子のルール作り」など家庭における取組を支援する」と回答した比率が最も高かった。また、「有害サイトへの規制を強化する」が全ての学年の保護者で50%以上となっており、高校2年生の保護者の回答で最も高いものとなっている。

5 フィルタリングに関する法令の認知度

問. あなたは、18 歳未満の人が使用する携帯電話等には、原則としてフィルタリングを利用しなければならないことを知っていますか。(単数回答)



「知っている」と回答したのは、小学5年生の保護者で約38%、中学2年生の保護者で約55%、高校2年生の保護者で約54%であった。